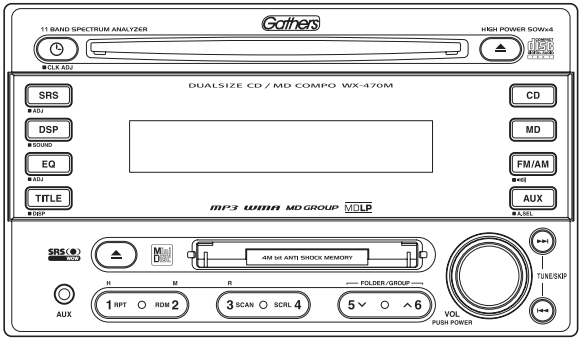
HONDA
The Power of Dreams

Hondaカーオーディオ取扱説明書

Gathers
Honda Multi Car-AV System

デュアルサイズ CD/MD コンポ

WX-470M



このたびは、Honda純正用品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。
この取扱説明書は、ご使用の前によくお読み頂き大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。適用車種以外の車に取り付けた場合は一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
  （商品の適用車種は販売店にご相談ください。）
- Honda車への取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

Honda Access

目次

この取扱説明書の読みかたや、全般的な注意事項が書いてあります。最初に一読してください。

本書の読み方 4
ご注意とアドバイス 6
CDの取り扱い 8
MDの取り扱い 10
使用上のご注意 11
特長 12

本機のご使用を始める前に設定していただきたい項目が書いてあります。

ご使用を始める前に 14
始めに設定してください 14
時刻を合わせる 15

ここを読めば、ひととおり操作できます。

基本操作 16
共通操作 16
ラジオの操作 16
CDの操作 17
MDの操作 17
AUXの操作 17

共通の操作項目が書いてあります。

電源を入れる 18
電源を入れる／切る 18
ソース（音源）を選択する 18
外部入力音声を聴く(AUX) 19

音量や音質の調節 20
音量を調節する 20
音質を調整する 20
DSP効果を呼び出す 21
イコライザーカーブを呼び出す 22
イコライザーカーブを調整する 22
WOWを呼び出す 24
WOWを調整する 24

各ソースのいろいろな再生方法が書いてあります。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

ラジオを聴く 26
ラジオモードにする 26
バンドを選ぶ 26
放送局を選ぶ 26
好みの放送局を登録する 27
登録した放送局を呼び出す 27
放送局を自動で登録する 28
交通情報を聴く 29

CDやMP3/WMAを聴く 30
CDやMP3/WMAを聴く 30
CDを取り出す 30
曲を選ぶ 31
フォルダを選ぶ 31
早送り／早戻し 31
曲を繰り返し聴く 32
フォルダ内の曲を繰り返し聴く 32
曲をランダムに聴く 33
曲を探す 33

MDを聴く 34
MDを聴く 34
MDを取り出す 34
曲を選ぶ 35
グループを選ぶ 35
早送り／早戻し 35
曲を繰り返し聴く 36
グループ内の曲を繰り返し聴く 36
曲をランダムに聴く 36
全グループ内の曲をランダムに聴く 37
曲を探す 37

本機のいろいろな設定や調整方法が書いてあります。

表示部の設定 38
- 時計表示を切り替える 38
- 文字表示を切り替える 38
- 表示部を設定する 40
- グラフィック表示を切り替える 40
- テキストスクロールの設定 42
- テキストスクロール 43

構成設定 44
- コンフィグ設定 44

トラブルの解決方法などが書いてあります。思いどおりに動かないときに読んでください。

MP3/WMA/MDグループについて .. 46
用語 48
- 共通 48
- 音質の調整 49
- 表示部の設定 49
- コンフィグ設定 50

故障かな？と思ったら 51
メッセージについて 55
アフターサービスについて 56

付属品一覧 56
外形寸法図／コネクター配線図 57
仕様一覧 58

本書の読み方

●本書では、運転者や他の人が傷害を負ったりする可能性のあることを下記の表示を使って記載し、その危険性や回避方法などを説明しています。
これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠ 危険
●指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

⚠ 警告
●指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

⚠ 注意
●指示に従わないと、軽傷をうける可能性があるもの

●当商品に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。
しっかりお読みください。

アドバイス
・当商品が故障、破損するのを防ぐためアドバイスを記載しています。
・異常事態の処置方法を記載しています。

知識
知っておいていただきたいこと、知っておくと便利なことを記載しています。

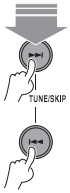
●ボタンとツマミの操作のしかた

短かく押す
ボタンをチョンと押すことを表します。

1秒以上押す
1秒以上（または0.5秒／2秒以上）押す操作を表します。

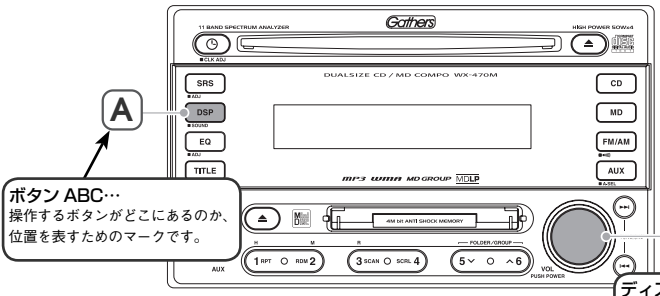
動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表します。
このとき、操作確認音が鳴りますのでボタンから手を離してください。
押す秒数は矢印の中の表示を目安にできます。
図では、1秒間押すことを示しています。

押し続ける
ボタンを押し続けることを表します。

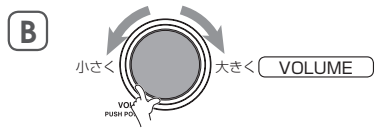


1.5秒以上（または0.5秒以上）ボタンを押して、押し続けているあいだ、機能することを表します。

●図の見かた



音量を調節する



知識 音量は00～40まで調節できます。

注意 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。

音量バランスを調整する

前後左右のバランスを調整します。

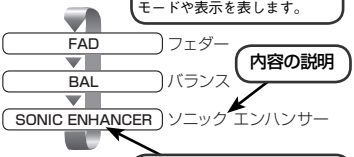
1 サウンド調整モードにします

"SOUND"と表示されるまで押

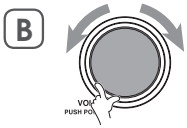
ディスプレイ表示

2 調整項目を選択します

押すたびに、調整項目が次のように替わります。



3 値を調整します



調整項目	調整値
FAD(前後の音量差)	R09(後)～00～F09(前)
BAL(左右の音量差)	L09(左)～**00**～R09(右)
SONIC ENHANCER（圧縮オーディオの補正）	**OFF**/MODE1/MODE2/MODE3

(太字は初期設定値)

4 サウンド調整モードを終了します

1秒以上押し続ける、または7秒間以上何も操作しないと、サウンド調整モードが終了します。

仕様変更などにより、この本の内容と商品が一致しない場合もありますのでご了承ください。
本取扱説明書の表示は説明用に作成したものです。実際とは異なることがあります。

ご注意とアドバイス

⚠ 危険

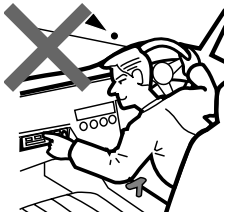
該当なし

⚠ 警告

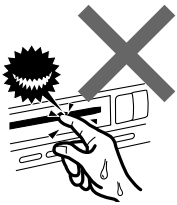
該当なし

⚠ 注意

●運転者が走行中に操作する場合は安全運転に十分注意して操作してください。前方不注意により交通事故の原因となることがあります。



●CDやMD挿入口などに手や指を挟まれないよう注意してください。
CDやMD挿入口に、手や指を入れるとけがの原因になることがありますので差し込まないでください。



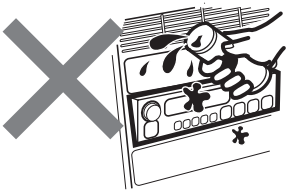
●適切な音量でお聴きください。
運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因になることがあります。

アドバイス

●エンジン停止中やアイドリング中に大きな音量で長時間ご使用になりますと、バッテリーが過放電となり、エンジンの起動ができなくなる恐れがあります。

●CDやMD挿入口およびAUX端子に、コインなど異物を差し込まないでください。故障の原因になることがあります。

●絶対に水にぬらさないでください。
本機に、水・飲み物・雨などをかけないでください。発熱・感電・故障の原因となります。



●本機を分解したり、改造しないでください。故障の原因となることがあります。

●ヒューズを交換するときは、必ず指定容量のヒューズを使用してください。
指定容量を超えるヒューズやヒューズ以外の物を使用すると、故障の原因になります。

●音が出ない、変なにおいがするなどの状態で使用し続けないでください。
そのまま使用を続けますと、故障したり煙が出てくるなど、修理不能になる恐れがあります。このようなときはただちに使用をやめ、お買い上げの販売店にご相談ください。

知　識

●ラジオの受信については、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

●バッテリー交換のときなど本機への電源供給が止まるとメモリーした内容は消えてしまいます。

●本機が動作中に、振動の激しい悪路や道路のつなぎ目などを走行すると、音飛びを起こすことがあります。

●長時間車を屋外に駐車する場合
真夏や真冬は、車内の温度が極度に変化していますので換気したり、暖房したりして、車内を適温にしてご使用ください。

●表示部に衝撃を加えたりすると、破損や変形など、故障の原因となります。

●表示部は、日差しの角度によっては反射光などで見えにくくなることがあります。

●結露について
寒い車内を急に暖房したときなど、ユニット内部に結露が起こることがあります。結露がユニット内部で発生すると、ピックアップに水滴が付着し、レーザー光線が乱反射され正常に動作できなくなることがあります。このような場合は、CDやMDを取り出して乾燥させてください。1時間程度で結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。

●温度について
直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。
本機内部が70℃を越える高温になると、保護回路が働いてCDやMDの再生ができなくなります。
このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、再生ができる状態になります。

●万一異常が発生したときは、「アフターサービスについて」（→56ページ）の項をお読みになり修理を依頼してください。

CD の取り扱い

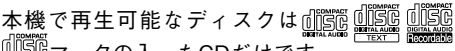
使用できないCD

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

●

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。

●

本機で再生可能なディスクは  マークの入ったCDだけです。

著作権保護技術対応音楽CDは、本機では再生できない場合があります。

上記マーク以外のCD標準規格に合致しない特殊仕様のCD（各種コピーコントロールCD）は、弊社としては再生保証は致しかねます。

万が一、このような特殊ディスクの再生に支障がある場合は、CDの発売元にお問い合わせください。

●

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

●

反りやヒビがあるCDは使用しないでください。使用すると、音飛びや故障の原因となります。

●

読取り面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

●

インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWは使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。

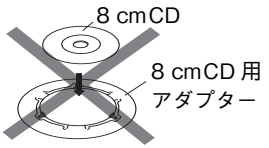
CD用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。

●

市販の8cmCD用のアダプターも使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

本機で8cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。



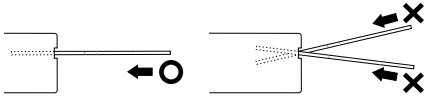
表示できる文字について

本機で表示できるCD TEXTの文字は英数文字、カタカナ、日本語（シフトJIS）です。MP3/WMAの文字については「MP3/WMAについて」（➡46 ページ）をご覧ください。

CDの入れかた／出しかた

本機にCDを出し入れするときは水平方向に挿入または引き出してください。

下側または上側に強く押しながら出し入れするとCDの読取り面に傷を付ける原因となります。



CDの取り扱いについて

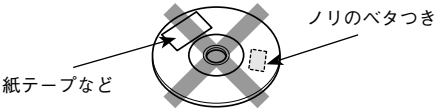
CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは読取り面に触れないようにしてください。
（レーベルが印刷されていない面が読取り面です。）

●

CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。
詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

●

読取り面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障することがあります。

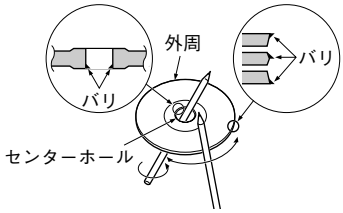


レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

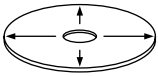
新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽く拭き取ってください。
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



CDの保存

直射日光があたる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高い場所には置かないでください。
特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

●

長期間再生しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。
キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

MD の取り扱い

Hi-MD ／データ用のMDについて

Hi-MD用ディスクやHi-MD形式でフォーマットしたディスク、データ用MDは使用できません。

マークのついた従来の音楽用のMDを使用してください。

表示できる文字について

本機で表示できるトラックタイトルなどの文字と文字数は次のようになります。

表示できる文字	英数文字、カタカナ、 日本語（シフトJIS）
タイトルの文字数	128文字まで （日本語は64文字まで）

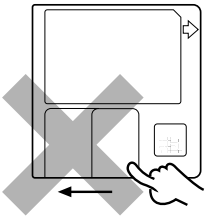
ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せなくなるなど故障の原因となります。

MDのシャッターについて

MDのシャッターは開けないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。

シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指で触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。



MDのお手入れ

カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布で拭き取ってから使用してください。特に油汚れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。

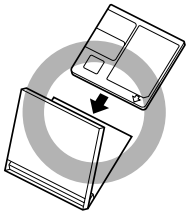
また、お手入れされるときは、シャッターを開かないようご注意ください。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

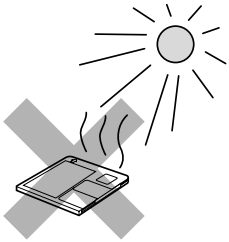
保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。



高温に注意

MDを直射日光のあたる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。

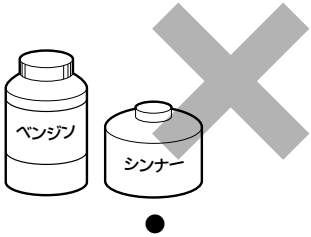


使用上のご注意

本機のお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。



CDやMD挿入口は、ホコリがたまりやすいので、時々掃除してください。

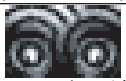
本機のお取り扱いについて

本機を分解したり、改造しないでください。
故障の原因となることがあります。

特長

使用環境に適した音質に自動補正

車種やスピーカーの種類など使用環境を設定することで、使用環境に適した音質に補正します。

キャビン選択 （CABIN選択）	 コンパクト(COMPACT)	 セダン(SEDAN)	 ミニバン(MINIVAN)
スピーカー選択	 標準スピーカー (STANDARD)	 デュアルコーン スピーカー(DUAL)	 同軸2ウェイ スピーカー(2WAY)
ツイーター選択	 ツイーターが ある(ON)	 ツイーターが ない(OFF)	

SRS WOW

米国SRS社のWOW回路により、サウンドに大迫力の重低音を付加したり、立体的な音場にして再生することができます。

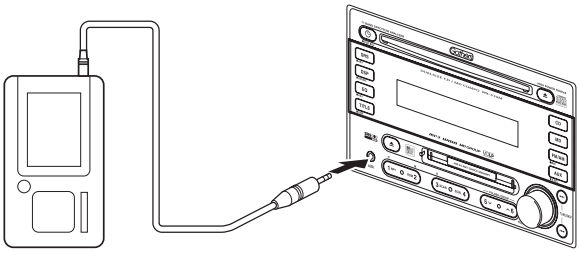
SRS 3D：奥行き感のある立体的な音場にすることができます。車室内のどこででも立体的で最適な音を聴くことができます。

FOCUS：フロントスピーカーの音像の位置を縦方向（上方向）に移動するとともに音の輪郭を調節します。

TruBass：原音に含まれている信号からバランスのとれた重低音を再現することができます。

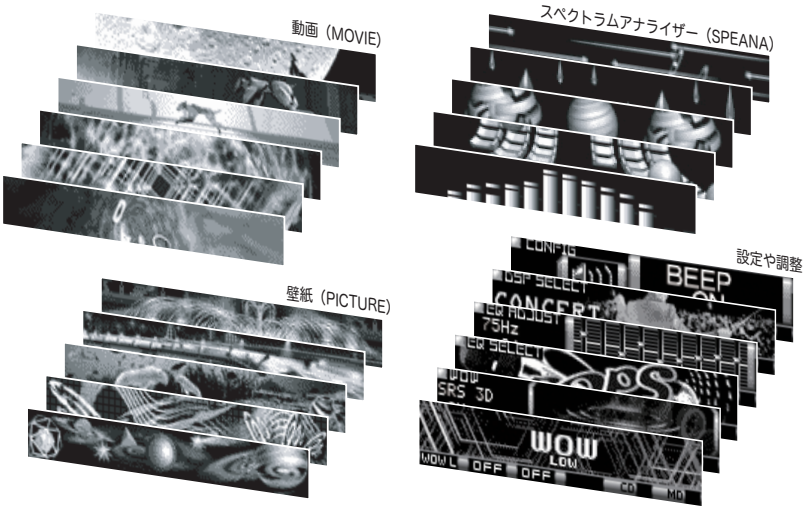
外部入力（AUX）端子

外部入力端子を操作パネルに配置したことで、デジタルオーディオプレイヤーなどのポータブルオーディオの音をスピーカーから聴くことができます。



8階調フルドット表示

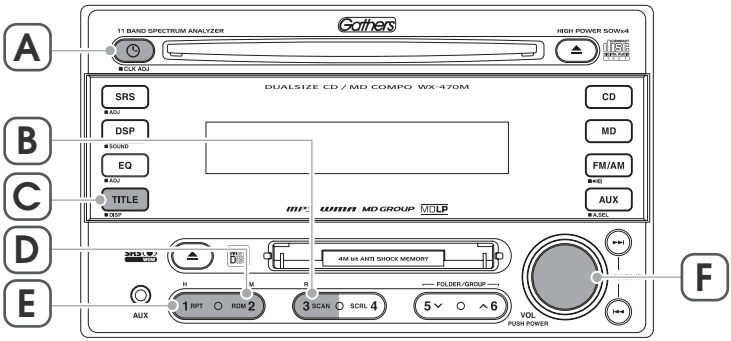
動画や壁紙、スペクトラムアナライザーを表示できます。また、設定や調整をグラフィック表示します。



漢字表示

MP3、WMAやMDの曲情報を漢字で表示できます。

ご使用を始める前に



始めに設定してください

ご使用を始める前に車両やスピーカーの種類など使用環境を設定してください。
使用環境に適した音質に補正します。

1 車両のACCをオン (I) にします

INITIAL

初めて本機の電源を入れると“INITIAL”と表示され使用環境の設定モードになります。

2 設定項目を選択します

C TITLE

押すたびに、設定項目が次のように替わります。

CABIN 選択（キャビン選択）

COMPACT
ライフなど、前後スピーカーの距離が近い車種に設定

SEDAN
シビックなど、セダンタイプに設定

MINIVAN
ステップワゴンなど、前後スピーカーの距離が離れている車種に設定

スピーカー選択

STANDARD
標準的なスピーカーに設定

DUAL
振動板が二つあるデュアルコーンスピーカーに設定

2WAY
低音用と高音用に分かれた同軸2ウェイスピーカーに設定

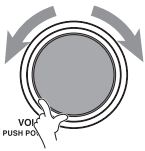
ツイーター選択

OFF
ツイーターがないときに設定

ON
別途ツイーターを取り付けたときに設定

3 値を設定します

F



設定項目	設定値
CABIN選択（車種を設定）	**COMPACT**（コンパクト）/ SEDAN（セダン）/ MINIVAN（ミニバン）
スピーカー選択（スピーカーの種類を設定）	**STANDARD**（標準）/ DUAL（デュアルコーン）/ 2WAY（同軸2ウェイ）
ツイーター選択（ツイーターの有無を設定）	**OFF**（ない）/ ON（ある）

（太字は初期設定値）

4 オーディオの電源を入れます

F

知識
- “CABIN選択”を設定すると「音質を調整する」（→20ページ）の “FAD” 項目が設定された初期値に替わります。
- 電源オフ中は操作確認音が鳴りません。
- 後から設定を変更することができます。設定を変更するときは、「コンフィグ設定」（→44ページ）を参照して “CABIN選択”、“スピーカー選択” および “ツイーター選択”項目を設定してください。

知識 設定が完了していないとイニシャル（“INI”）インジケーターが点滅し続けますので、設定を行ってください。

イニシャルインジケーター

時刻を合わせる

時計表示の時刻を合わせます。

知識
- 時刻を調整していないときは、“AM”または“PM”表示と一緒に時計が点滅し続けます。時刻を調整してください。
- 点検や修理などでバッテリーを外した場合は、時計表示が点滅します。時刻を調整してください。

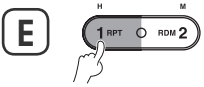
1 時刻調整モードにします

“CLOCK ADJUST”と表示されるまで押し続けます。

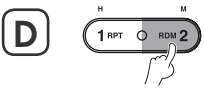
知識 時計表示を消している場合は、時計を表示させてから操作してください。

2 時刻を合わせます

“時”を合わせる



“分”を合わせる

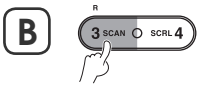


押し続けると、連続して変わります。

知識 時刻を調整すると、秒が00秒になります。

時報に合わせるときは…

手順2のあとに



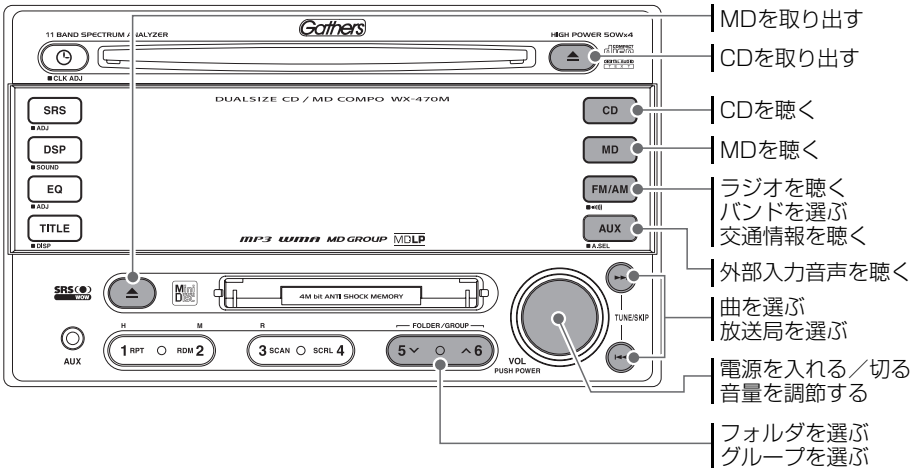
押すと00分00秒になり、時計調整モードを終了します。

例： 8:00～8:29 ➡ 8:00
8:30～8:59 ➡ 9:00

3 時刻合わせを終了します

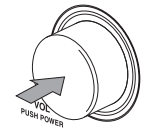
知識 電源オフ中は操作確認音が鳴りません。

基本操作



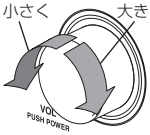
共通操作

電源を入れる／切る



押すと電源が入ります。
もう一度押すと電源が切れます。
（→18 ページ）

音量を調節する



回します。
（→20 ページ）

⚠ 注意 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。

交通情報を聴く

1秒以上押すと交通情報を受信します。
もう一度1秒以上押すと元のソース（音源）に戻ります。
（→29 ページ）

ラジオの操作

ラジオを聴く

ボタンを押すとラジオを受信します。
（→26 ページ）

バンドを選ぶ

ボタンを押すたびに、FM1、FM2またはAMに替わります。
（→26 ページ）

放送局を選ぶ

操作確認音が鳴るまでボタンを押し続けます。
受信状態の良い放送局を受信します。（自動選局）
（→26 ページ）

CDの操作

CDを聴く

CDのレーベル面を上にしてCDを挿入します。
CDの再生が始まります。(➡30ページ)

CDが入っているときは、ボタンを押すとCDの再生が始まります。(➡30ページ)

曲を選ぶ

ボタンを押すたびに、曲が順番に替わります。(➡31ページ)

フォルダを選ぶ(MP3/WMA)

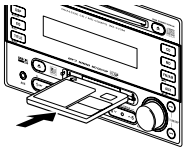
押すたびに、フォルダが順番に替わります。(➡31ページ)

CDを取り出す

押します。CDが出てきます。(➡30ページ)

MDの操作

MDを聴く



MDを図の向きで挿入します。
MDの再生が始まります。(➡34ページ)

MDが入っているときは、ボタンを押すとMDの再生が始まります。(➡34ページ)

曲を選ぶ

ボタンを押すたびに、曲が順番に替わります。(➡35ページ)

グループを選ぶ(グループ登録済みMD)

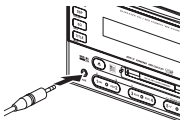
押すたびに、グループが順番に替わります。(➡35ページ)

MDを取り出す

押します。MDが出てきます。(➡34ページ)

AUXの操作

外部入力音声を聴く(AUX)

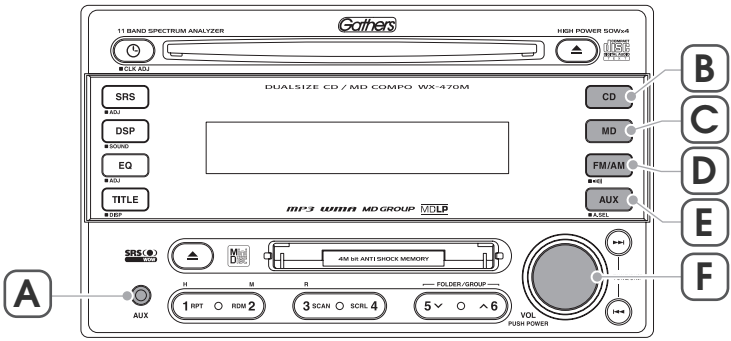


AUX端子にケーブルを接続します。
外部機器の音声を聴けます。(➡19ページ)

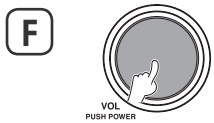
AUX端子にケーブルを接続しているときは、ボタンを押すと外部機器の音声を聴けます。(➡19ページ)

注意
- AUX端子に接続するケーブルは、ステレオミニプラグで抵抗が入っていないケーブルを使用してください。
- AUX端子に接続する機器の音量は最小にして接続後に調節してください。接続した機器のボリュームが大きいまま本機に接続すると、大きな音量で鳴る場合があります。

電源を入れる



●電源を入れる／切る



もう一度押すと電源が切れます。

知識 オーディオの電源を切ったとき、下記項目をすべておこなうと表示部を消灯することができます。

1.「時計表示を切り替える」(➡38ページ)で時計表示を消します。
2.「コンフィグ設定」(➡44ページ)で“DEMO”項目を“OFF”に設定します。
3.「文字表示を切り替える」(➡38ページ)でテキスト表示をオフに設定します。
4. CDとMDを取り出します。

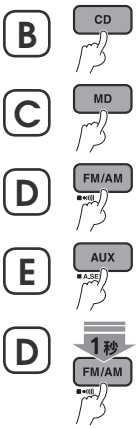
– 使用環境の設定が完了している必要があります。使用環境の設定は「コンフィグ設定」(➡44ページ)で“CABIN選択”、“スピーカー選択”および“ツイーター選択”項目を設定してください。

知識 **デモンストレーション表示**

デモ表示機能をオンにしているとオーディオの電源を切ったときに、デモ(“DEMO”)インジケーターが点滅し続けます。

デモ表示機能をオフにするには、「コンフィグ設定」(➡44ページ)の“デモ表示”項目を“OFF”に設定してください。

●ソース(音源)を選択する



Compact Disc
CDを聴く
(➡30ページ)

Mini Disc
MDを聴く
(➡34ページ)

TUNER
ラジオを聴く
(➡26ページ)

AUX
外部入力音声を聴く
(➡19ページ)

Traffic Information
交通情報を聴く
(➡29ページ)

知識
- CD、MDはディスクを挿入していないと選択できません。
- AUXはAUX端子にケーブルを接続していないと選択できません。
- オーディオの電源がオフでもボタンを押すと電源がオンしてソースが替わります。

デモインジケーター

外部入力音声を聴く(AUX)

AUX端子に接続した外部機器の音声を聴くことができます。

AUX端子にケーブルを接続していないとき

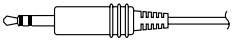
A

AUX

AUX端子にケーブルを接続するとAUXソースに替わります。

注意

- AUX端子に接続するケーブル（市販品）は、ステレオミニプラグ（φ3.5mm、3極）で抵抗が入っていないケーブルを使用してください。抵抗入りのケーブルを使用すると音量が小さくなります。



- AUX端子に接続する機器のボリュームは最小にして接続後に調節してください。接続した機器のボリュームが大きいまま本機に接続すると大きな音量で鳴る場合があります。

知識

- AUXソースは、音量の調節が独立しています。「音量を調節する」（→20ページ）を参照してAUX用に音量を調節してください。
- オーディオの電源がオフ中は、AUX端子にケーブルを接続してもAUXソースに替わりません。

AUX端子にケーブルを接続しているとき

E

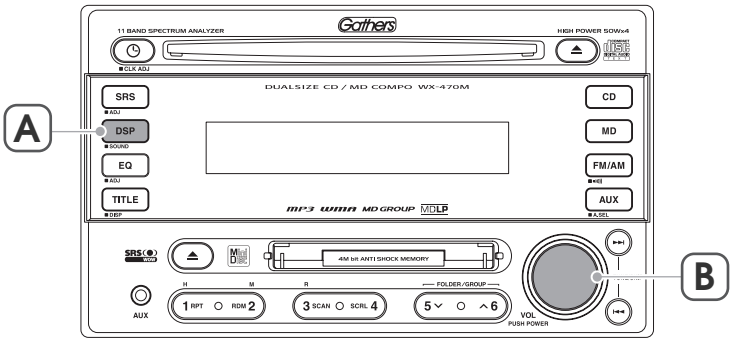
AUX

AUXソースに替わります。

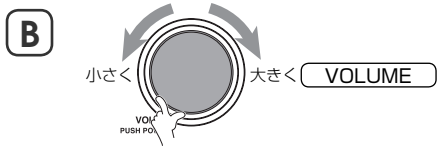
知識

AUX端子にケーブルを接続していないとAUXソースに替わりません。

音量や音質の調節



●音量を調節する



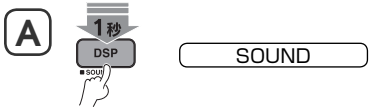
知識
- 音量は00～40まで調節できます。
- AUXソースのみ音量を独立して調節します。AUX用の音量は、AUXソースに切り替えてから調節してください。

注意
- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- AUX端子に接続する機器の音量に注意してください。接続した機器のボリュームが大きいまま本機に接続すると大きな音量で鳴る場合があります。

●音質を調整する

音質の調整や前後左右のバランスを調整します。

1 サウンド調整モードにします



“SOUND”と表示されるまで押し続けます。

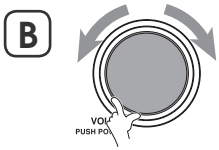
2 調整項目を選択します

押すたびに、調整項目が次のように替わります。

BAS	バス
MID	ミドル
TRE	トレブル
FAD	フェダー
BAL	バランス
SONIC ENHANCER	ソニック エンハンサー

DSPインジケーター

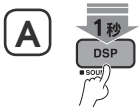
3 値を調整します



調整項目	調整値
BAS(低音域の音量)	−06～**00**～+06
MID(中音域の音量)	−06～**00**～+06
TRE(高音域の音量)	−06～**00**～+06
FAD(前後の音量差)	R09(後)～00～F09(前)
BAL(左右の音量差)	L09(左)～**00**～R09(右)
SONIC ENHANCER(圧縮オーディオの補正)	**OFF**/MODE1/MODE2/MODE3

(太字は初期設定値)

4 サウンド調整モードを終了します



1秒以上押し続ける、または7秒間以上何も操作しないと、サウンド調整モードが終了します。

知識
- 「イコライザーカーブを呼び出す」(→22ページ)でイコライザーを選択している場合は、"BAS"、"MID"、"TRE"項目の選択はできません。
- "SONIC ENHANCER"の詳しい機能説明については、「用語」(→49ページ)をご覧ください。
- "FAD"は「コンフィグ設定」(→44ページ)の"CABIN選択"項目の設定を変えると設定ごとの初期値に替わります。
- "FAD"の初期値は「コンフィグ設定」(→44ページ)の"CABIN選択"項目の設定により替わります。

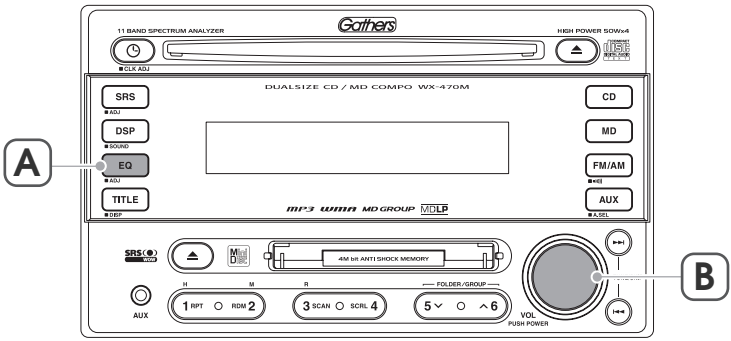
DSP効果を呼び出す

押すたびに、DSP効果が次のように替わります。

DSP SELECT STADIUM	STAD. スタジアム
DSP SELECT CONCERT	CONC. コンサート ホール
DSP SELECT LIVE HOUSE	LIVE. ライブ ハウス
DSP SELECT THEATER	THEA. シアター
DSP SELECT DISCO	DISCO ディスコ
DSP SELECT JAZZ CLUB	JAZZ. ジャズクラブ
DSP SELECT LISTENING	LIST. リスニング ルーム
DSP SELECT CHURCH	CHUR. チャーチ
DSP SELECT OFF	OFF オフ

知識
- 初期設定は"OFF"です。
- 交通情報モード中は設定できません。

音量や音質の調節



イコライザーカーブを呼び出す

ジャンル別に設定された音質を呼び出します。

A → EQ → EQ SELECT

押すたびに、イコライザーカーブが次のように替わります。

- EQ SELECT NATURAL (NATU.) ナチュラル
- EQ SELECT ROCK (ROCK) ロック
- EQ SELECT POPS (POPS) ポップス
- EQ SELECT DANCE (DANCE) ダンス
- EQ SELECT VOCAL (VOCAL) ボーカル
- EQ SELECT USER (USER) ユーザー設定
- EQ SELECT OFF (OFF) オフ

知識
- 初期設定は“OFF”です。
- 交通情報モード中は設定できません。
- “USER”は「イコライザーカーブを調整する」（→22ページ）で設定した値を呼び出します。

イコライザーカーブを調整する

ジャンル別に設定された音質を好みの音質に調整します。

1 イコライザーをオンにします

A → EQ → EQ SELECT

「イコライザーカーブを呼び出す」（→22ページ）を参照して“NATURAL”から“USER”のいずれかに設定します。

2 EQコントロールモードにします

A → 1秒 EQ → EQ CONTROL

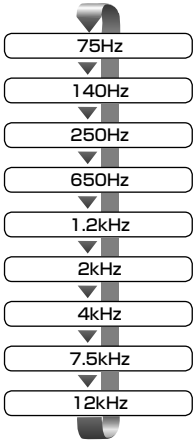
“EQ CONTROL”と表示されるまで押し続けます。

3 設定する項目を選択します

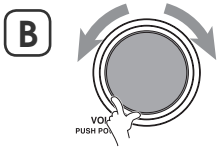
A → EQ

押すたびに、調整項目が次のように替わります。

イコライザーインジケーター

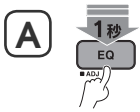


4 値を調整します



調整値
−12 ～ 00 ～ +12

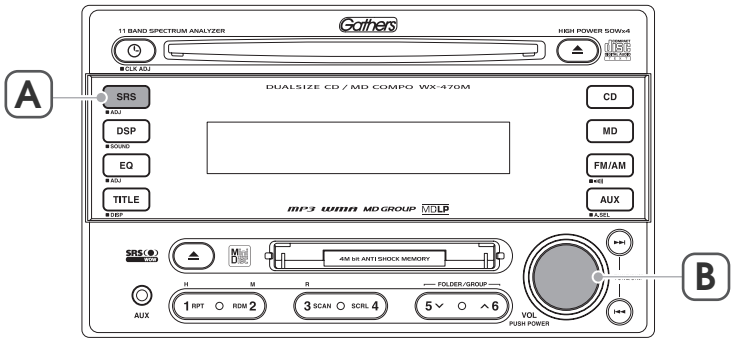
5 EQコントロールモードを終了します



1秒以上押し続ける、または7秒間以上何も操作しないと、EQコントロールモードが終了します。

知識 「イコライザーカーブを呼び出す」(→22ページ)を"EQ SELECT OFF"に設定しているときは、EQコントロールの調整ができません。

音量や音質の調節



WOWを呼び出す

SRS WOWの設定された効果を呼び出します。

A → SRS → WOW

押すたびに、WOWの設定が次のように替わります。

WOW LOW → WOW L ロー
WOW HIGH → WOW H ハイ
WOW USER → USER ユーザー設定
WOW OFF → OFF オフ

知識

- 初期設定は“OFF”です。
- 交通情報モード中は設定できません。
- 各設定の詳しい機能説明については、「用語」（→49ページ）をご覧ください。
- 各設定は「WOWを調整する」（→24ページ）の“SRS 3D”、“FOCUS”および“TruBass”の値を一括して設定します。設定値は以下のようになります。

SRS WOW	SRS 3D	FOCUS	TruBass
OFF	OFF	OFF	OFF
LOW	ON	LOW	ON
HIGH	ON	HIGH	ON
USER	「WOWを調整する」（→24ページ）で設定した値を呼び出します。		

WOWを調整する

SRS WOWの低音、音場および音像の効果を調整します。

1 WOWをオンにします

A → SRS → WOW ***

「WOWを呼び出す」（→24ページ）を参照して“LOW”、“HIGH”または“USER”に設定します。

2 WOWコントロールモードにします

A → 1秒 SRS → WOW

“WOW”と表示されるまで押し続けます。

3 設定する項目を選択します

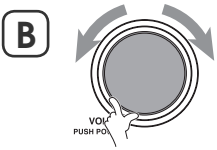
A → SRS

押すたびに、調整項目が次のように替わります。

SRS 3D → 音場の立体感の設定
FOCUS → 音像移動の設定
TruBass → 低音域の強調設定

WOWインジケーター

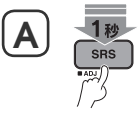
4 値を調整します



調整項目	調整値
SRS 3D （音場の立体感の設定）	**OFF**/ON
FOCUS （音像移動の設定）	**OFF**/LOW/HIGH
TruBass （低音域の強調設定）	**OFF**/ON

（太字は初期設定値）

5 WOWコントロールモードを終了します

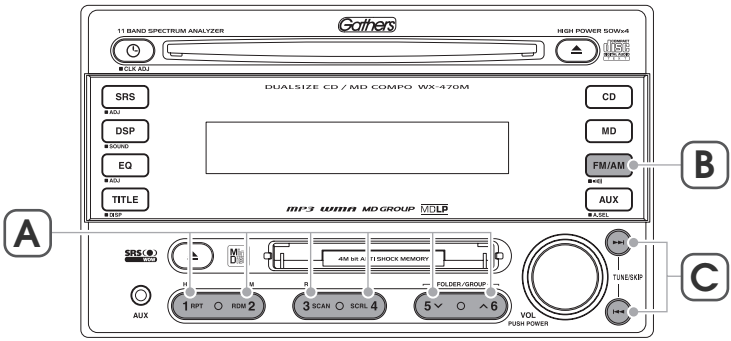


1秒以上押し続ける、または7秒間以上何も操作しないと、WOWコントロールモードが終了します。

知識

- 各設定の詳しい機能説明については、「用語」（→49ページ）をご覧ください。
- 「WOWを呼び出す」（→24ページ）を“WOW OFF”に設定しているときは、WOWコントロールの調整ができません。
- 各設定項目の値は「WOWを呼び出す」（→24ページ）で設定した値に置き替えられます。

ラジオを聴く



ラジオモードにする

B　FM/AM　TUNER

バンドを選ぶ

FM放送やAM放送の受信するバンドを選びます。

B　FM/AM

押すたびに、バンドが次のように替わります。

FM1　FM放送（バンド）
FM2　FM放送（バンド）
AM　AM放送（バンド）

知識　FM1またはFM2選択時にFMステレオ放送を受信するとステレオ放送受信（"ST"）インジケーターが点灯します。

放送局を選ぶ

受信する放送局を選びます。（チューニング）

1 FM1、FM2またはAMを選びます

前記の「バンドを選ぶ」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます

操作により３種類の選局方法があります。

自動選局

C　0.5秒　進む　TUNE/SKIP　戻る

操作確認音が鳴るまで押し続けます。受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

手動選局（１ステップずつ替える）

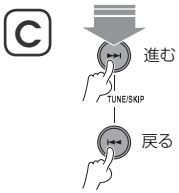
C　進む　TUNE/SKIP　戻る

押すたびに、周波数が１ステップずつ替わります。

ステレオ放送受信インジケーター

周波数　プリセット番号

手動選局（連続して替える）



1.5秒以上押し続けると、押している間、周波数が連続して替わります。

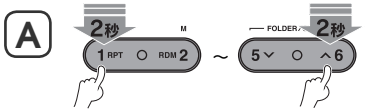
好みの放送局を登録する

受信中の放送局をプリセットボタンに登録します。（プリセットメモリー）

1 放送局を選びます

前記の「バンドを選ぶ」と「放送局を選ぶ」を参照して放送局を受信します。

2 登録するボタン(1～6のいずれか)を選びます



FM1 83.0MHz 3ch

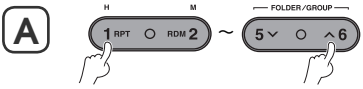
操作確認音が鳴るまで押し続けます。

知識

- FM1、FM2、AMの各バンドに、それぞれ最大6局まで登録できます。
  FM12局、AM6局の合計18局まで登録できます。
- 電源供給が止まると（バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど）、登録した内容は消去されます。

登録した放送局を呼び出す

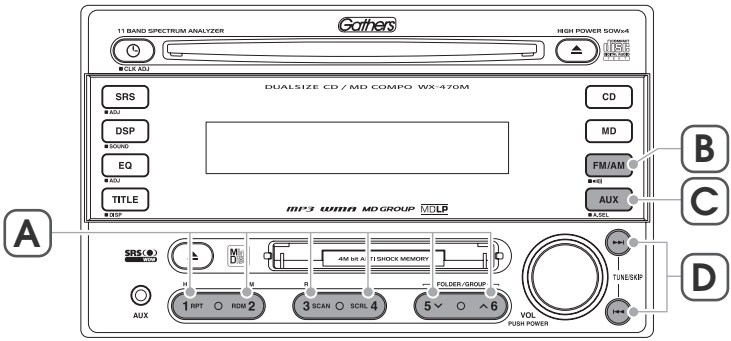
プリセットボタンに登録した放送局を呼び出します。



FM1 83.0MHz 3ch

登録されている放送局が呼び出されます。

ラジオを聴く



放送局を自動で登録する（オートセレクト：A.SEL）

受信状態の良い放送局を自動的に登録します。

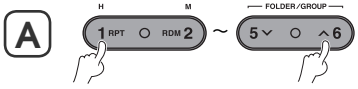
1 オートセレクトを開始します

“AUTO SELECT”と表示されるまで押し続けます。“A.SEL”インジケーターが点滅して選局が始まります。
選局が完了すると“A.SEL”インジケーターが点灯して、最も受信状態の良い放送局を受信します。

2 呼び出したいバンドを選びます

「バンドを選ぶ」（➡26ページ）を参照してバンドを選びます。

3 放送局を呼び出します

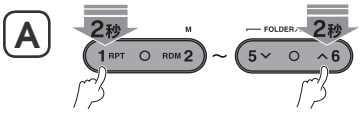


FM1 83.0MHz 3ch

押したボタンの番号が表示され、登録されている放送局が呼び出されます。

登録された放送局を変更するには…

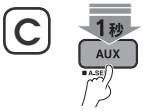
「バンドを選ぶ」と「放送局を選ぶ」（➡26ページ）を参照して登録したい放送局を受信しておきます。



FM1 80.0MHz 2ch

操作確認音が鳴るまで押し続けます。

4 オートセレクトを解除します



“A.SEL”インジケーターが消灯して、オートセレクトを開始する前の放送局に戻ります。

知識

- 自動的に受信状態の良い放送局が最大FM12局、AM6局まで順に登録されます。FMは受信状態の良い順に、上位6局をFM1バンド、次の6局をFM2バンドに登録されます。
- 放送局が登録されていない場合は、“----”と表示されます。
- 「好みの放送局を登録する」（➡27ページ）のプリセットメモリーとは別にオートセレクト用として登録されます。
- オートセレクトを解除すると、オートセレクトで登録した放送局は消去されます。オートセレクトを開始する前の放送局を呼び出します。
- 電源供給が止まると（バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど）、登録した内容は消去されます。

A.SELインジケーター

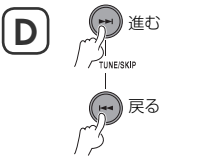
交通情報を聴く

どのソース（音源）モードからでも簡単に交通情報放送を聴くことができます。

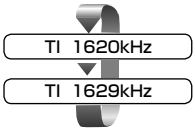
1 交通情報モードにします

“Traffic Information”と表示されるまで押し続けます。

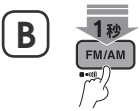
2 交通情報の周波数を替えます



押すたびに、周波数が切り替わります。



3 交通情報モードを終了します

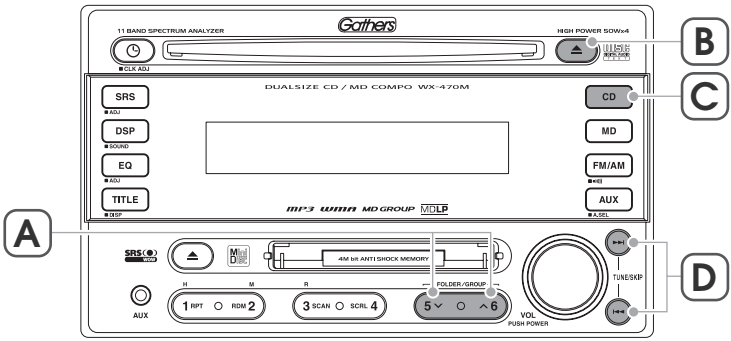


聴きたいソースのボタンを押します。

知識

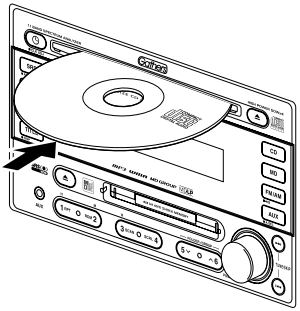
- 交通情報モード中は上記以外の周波数には替わりません。
- 初期設定は“1620kHz”です。
- 交通情報モード中は、DSP、イコライザーおよびWOWはオフになります。
- オーディオの電源がオフ中でも交通情報モードにすることができます。
- 交通情報モード中にエンジンスイッチまたはオーディオの電源をオフにすると、交通情報モードは解除されます。

CDやMP3/WMAを聴く



CDやMP3/WMAを聴く

CDが入っていないとき



CDのレーベル面を上にしてCDを挿入します。
CDの再生が始まります。
MP3/WMAを記録したメディアの場合はMP3/WMAファイルの再生が始まります。

アドバイス

- 8cmCDもそのまま挿入できます。8cmCD用アダプターは使用しないでください。8cmCD用アダプターを使用するとCDが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。
- すでにCDが入っているときに、さらにCDを入れないでください。無理にCDを入れるとCDに傷が付いたり、CDが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

知識

- MP3ファイルを再生中は“MP3”インジケーターが、WMAファイルを再生中は“WMA”インジケーターが点灯します。
- MP3/WMAメディアを挿入すると、最初にディスク内すべてのファイルを確認するため、再生が始まるまで時間がかかります。ファイルの確認中は“TOC READ”と表示します。
- 再生できるMP3/WMAメディアや、フォーマット、書き込み方法の注意などが「MP3/WMAについて」（→46ページ）に記載してあります。メディアを作成する前にご覧ください。

CDが入っているとき

C　CD　Compact Disc

CDの再生が始まります。

知識 CDが入っているとCDインジケーターが点灯します。

CDを取り出す

B　EJECT

CDが出てきます。

知識

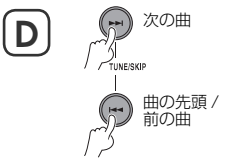
- CDモードにする前のソース（音源）モードに戻ります。
- 他のモード中や電源オフ中でもCDを取り出すことができます。
- 排出状態でCDを取り出さない状態のまま約10秒経過するとCDが引き込まれます。

トラック番号　　CDインジケーター

フォルダ番号　ファイル番号　　MP3/WMAインジケーター

•曲を選ぶ

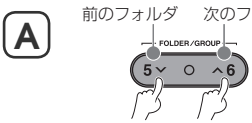
音楽CDまたはフォルダ内の曲を順に選びます。
（トラック／ファイルサーチ）



押すたびに、曲が順番に替わります。

フォルダを選ぶ（MP3/WMAのみ）

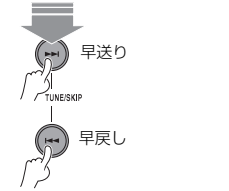
フォルダを順に選びます。（フォルダサーチ）



押すたびに、フォルダが順番に替わります。

•早送り／早戻し

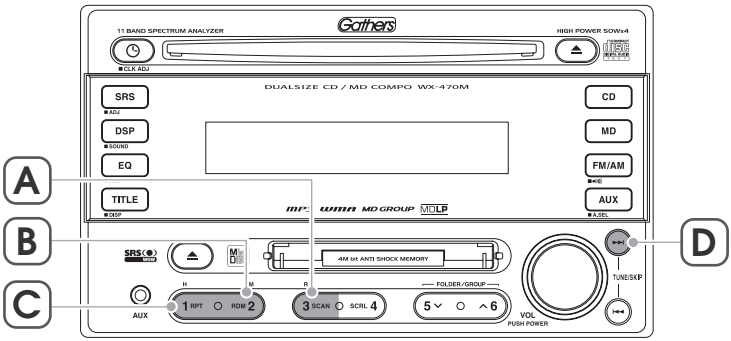
現在再生中の曲を早送り／早戻しします。
（マニュアルサーチ）



押している間、早送り／早戻しされます。
ボタンを離すと再生が始まります。

知識　MP3/WMAファイルを再生しているときは、マニュアルサーチ中に音は出ません。

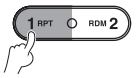
CDやMP3/WMAを聴く



●曲を繰り返し聴く

現在聴いている曲を繰り返し再生します。
（トラック／ファイルリピートプレイ）

C



音楽 CD 時
TRACK REPEAT

MP3/WMA 時
FILE REPEAT

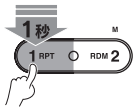
押すたびに、トラック／ファイルリピートプレイがオン／オフされます。
トラック／ファイルリピートプレイをオンにすると“Tr RPT”/“Fi RPT”インジケーターが点灯します。

知識
- トラック／ファイルサーチ、マニュアルサーチ、またはフォルダサーチを行うとトラック／ファイルリピートプレイが解除されます。
- トラック／ファイルリピートプレイを解除すると“Tr RPT”/“Fi RPT”インジケーターが消灯して、通常の再生に戻ります。

●フォルダ内の曲を繰り返し聴く（MP3/WMAのみ）

現在聴いているフォルダ内の曲を繰り返し再生します。（フォルダリピートプレイ）

C



FOLDER REPEAT

1秒以上押すたびに、フォルダリピートプレイがオン／オフされます。
フォルダリピートプレイをオンにすると“Fo RPT”インジケーターが点灯します。

知識
- フォルダサーチを行うとフォルダリピートプレイが解除されます。
- フォルダリピートプレイを解除すると“Fo RPT”インジケーターが消灯して、通常の再生に戻ります。

Tr RPT/ Tr RDM/ Tr SCN インジケーター

Fi RPT/ Fo RPT/ Fi RDM/ Fi SCN インジケーター

曲をランダムに聴く

音楽CD内またはフォルダ内の曲をランダムな順で再生します。（ランダムプレイ）

B　1 RPT　RDM 2

音楽 CD 時
TRACK RANDOM

MP3/WMA 時
FILE RANDOM

押すたびに、ランダムプレイがオン／オフされます。ランダムプレイをオンにすると“Tr RDM”/“Fi RDM”インジケーターが点灯します。

知識 ● D を押すと、次の曲をランダムに選択します。

- MP3/WMA時は、現在再生しているフォルダからランダムプレイを開始します。フォルダ内の全曲を再生すると、次のフォルダ内の曲をランダムな順で再生します。
- MP3/WMA再生時は、フォルダサーチを行うとランダムプレイが解除されます。
- ランダムプレイを解除すると“Tr RDM”/“Fi RDM”インジケーターが消灯して、通常の再生に戻ります。

曲を探す

音楽CD内またはフォルダ内の各曲の先頭部分を10秒間ずつ再生して曲を探します。（スキャンプレイ）

1 スキャンプレイを開始します

A　3 SCAN　SCRL 4

音楽 CD 時
TRACK SCAN

MP3/WMA 時
FILE SCAN

“Tr SCN”/“Fi SCN”インジケーターが点灯して、スキャンプレイが始まります。

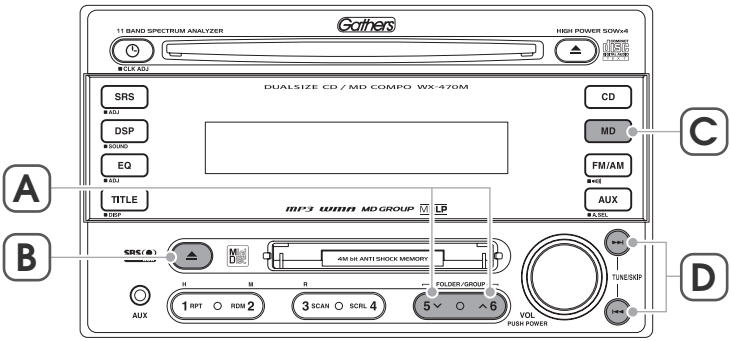
2 聴きたい曲のところで…

A　3 SCAN　SCRL 4

“Tr SCN”/“Fi SCN”インジケーターが消灯して、その曲から再生します。

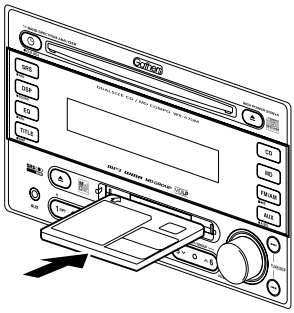
知識
- 音楽CD内またはフォルダ内の全曲をスキャンプレイすると通常の再生に戻ります。
- スキャンプレイは下記の操作を行うと解除されます。
  - トラック／ファイルサーチ、フォルダサーチまたはマニュアルサーチを行う。
  - トラック/ファイルリピートプレイ、フォルダリピートプレイまたはランダムプレイを行う。
  - ソースモードを替える。
  - 電源を切る。

MDを聴く



MDを聴く

MDが入っていないとき



MDのシャッターを右側にしラベル面を上側にして、矢印の方向に挿入します。
MDの再生が始まります。

アドバイス すでにMDが入っているときに、さらにMDを入れないでください。無理にMDを入れると故障の原因になります。

知識
- “MDLP” フォーマットで録音したMDもプレイすることができます。
- MDLP2形式を再生中は “LP2” インジケーターが、MDLP4形式を再生中は “LP4” インジケーターが点灯します。
- 本機はグループ管理機能を搭載しています。詳しくは、「MDグループについて」（→47ページ）をご覧ください。

MDが入っているとき

C MD

Mini Disc

MDの再生が始まります。

知識 MDが入っているとMDインジケーターが点灯します。

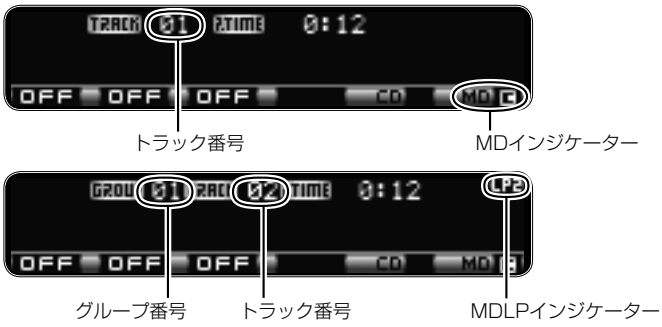
MDを取り出す

B

EJECT

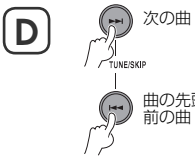
MDが出てきます。

知識
- MDモードにする前のソース（音源）モードに戻ります。
- 他のモード中や電源オフ中でもMDを取り出すことができます。



曲を選ぶ

曲を順に選びます。（トラックサーチ）



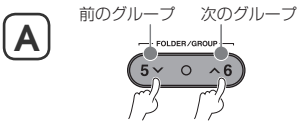
短く押すたびに、曲が順番に替わります。

知識 MDグループ機能を使用して再生していると、曲を選べない場合があります。詳しくは、「MDグループについて」（→41ページ）をご覧ください。

グループを選ぶ

（グループ登録済みMDのみ）

グループを順に選びます。（グループサーチ）

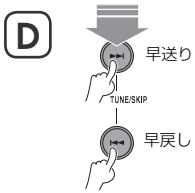


押すたびに、グループが順番に替わります。

知識 グループサーチは「コンフィグ設定」（→44ページ）で“MD GROUP”項目を“ON”に設定して、グループ登録済みMDを再生しているときに操作できます。

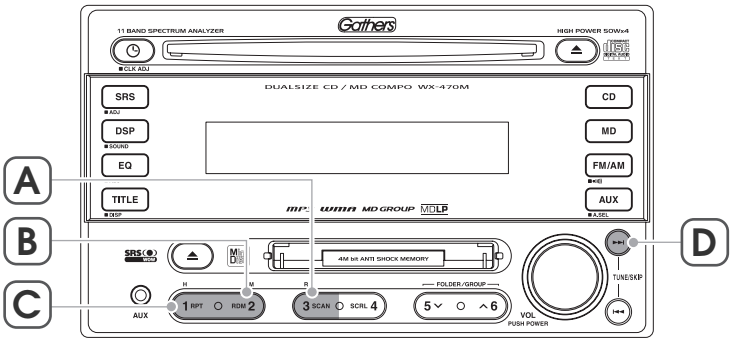
早送り／早戻し

現在再生中の曲を早送り／早戻しします。（マニュアルサーチ）



押している間、早送り／早戻しされます。
ボタンを離すと再生が始まります。

MDを聴く



曲を繰り返し聴く

現在聴いている曲を繰り返し再生します。
（トラックリピートプレイ）

C　1 RPT　RDM 2　TRACK REPEAT

押すたびに、トラックリピートプレイがオン／オフされます。
トラックリピートプレイをオンにすると“Tr RPT”インジケーターが点灯します。

知識
- トラックサーチ、マニュアルサーチ、またはグループサーチを行うとトラックリピートプレイが解除されます。
- トラックリピートプレイを解除すると“Tr RPT”インジケーターが消灯して、通常の再生に戻ります。

グループ内の曲を繰り返し聴く（グループ登録済みMDのみ）

現在聴いているグループ内の曲を繰り返し再生します。（グループリピートプレイ）

C　1秒　1 RPT　RDM 2　GROUP REPEAT

1秒以上押すたびに、グループリピートプレイがオン／オフされます。
グループリピートプレイをオンにすると“Gr RPT”インジケーターが点灯します。

知識
- グループリピートプレイは「コンフィグ設定」（→44ページ）で“MD GROUP”項目を“ON”に設定して、グループ登録済みMDを再生しているときに操作できます。
- グループサーチを行うとグループリピートプレイが解除されます。
- グループリピートプレイを解除すると“Gr RPT”インジケーターが消灯して、通常の再生に戻ります。

曲をランダムに聴く

MD内またはグループ内の曲をランダムな順で再生します。（トラックランダムプレイ）

B　1 RPT　RDM 2　TRACK RANDOM

押すたびに、トラックランダムプレイがオン／オフされます。
トラックランダムプレイをオンにすると“Tr RDM”インジケーターが点灯します。

知識
- D ⏭ を押すと、次の曲をランダムに選択します。
- グループ登録済みMDでは、現在再生しているグループからトラックランダムプレイを開始します。グループ内の全曲を再生すると、次のグループ内の曲をランダムな順で再生します。
- グループ登録済みMDを再生時は、グループサーチを行うとトラックランダムプレイが解除されます。
- トラックランダムプレイを解除すると“Tr RDM”インジケーターが消灯して、通常の再生に戻ります。

Tr RPT/ Tr RDM/ Tr SCN インジケーター

Tr RPT/ Gr RPT/ Tr RDM/ Tr SCN インジケーター

全グループ内の曲をランダムに聴く（グループ登録済みMDのみ）

グループ登録済みMDを再生中に全グループ内の曲をランダムな順で再生します。
（グループランダムプレイ）

B → 1秒 → 1 RPT / RDM 2 → GROUP RANDOM

1秒以上押すたびに、グループランダムプレイがオン／オフされます。
グループランダムプレイをオンにすると“Gr RDM”インジケーターが点灯します。

知識 ● D を押すと、次の曲をランダムに選択します。

- グループランダムプレイは「コンフィグ設定」（→44ページ）で“MD GROUP”項目を“ON”に設定して、グループ登録済みMDを再生しているときに操作できます。
- グループランダムプレイを解除すると“Gr RDM”インジケーターが消灯して、通常の再生に戻ります。

曲を探す

MDまたはグループ内の各曲の先頭部分を10秒間ずつ再生して曲を探します。（スキャンプレイ）

1 スキャンプレイを開始します

A → 3 SCAN / SCRL 4 → TRACK SCAN

“Tr SCN”インジケーターが点灯して、スキャンプレイが始まります。

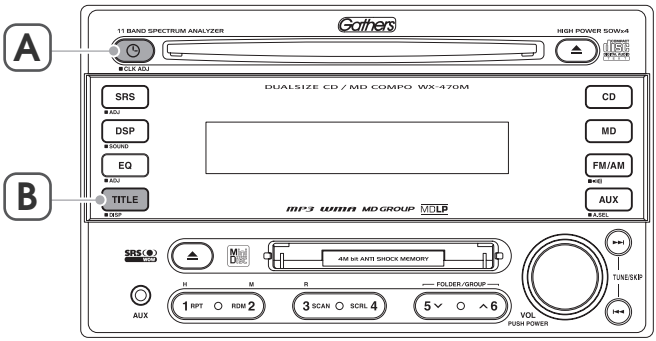
2 聴きたい曲のところで…

A → 3 SCAN / SCRL 4

“Tr SCN”インジケーターが消灯して、その曲から再生します。

知識
- MD内またはグループ内の全曲をスキャンプレイすると通常の再生に戻ります。
- スキャンプレイは下記の操作を行うと解除されます。
  - トラックサーチ、グループサーチまたはマニュアルサーチを行う。
  - トラックリピートプレイ、グループリピートプレイ、トラックランダムプレイまたはグループランダムプレイを行う。
  - ソースモードを替える。
  - 電源を切る。

表示部の設定



時計表示を切り替える

A

時計表示を消します。
もう一度押すと時計を表示します。

知識 初期状態は時計を表示します。

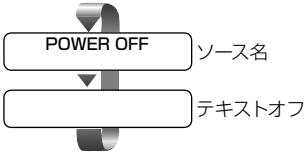
文字表示を切り替える

表示される文字情報を切り替えます。

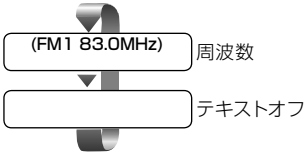
B

押すたびに、表示項目が次のように替わります。

オーディオの電源オフ時

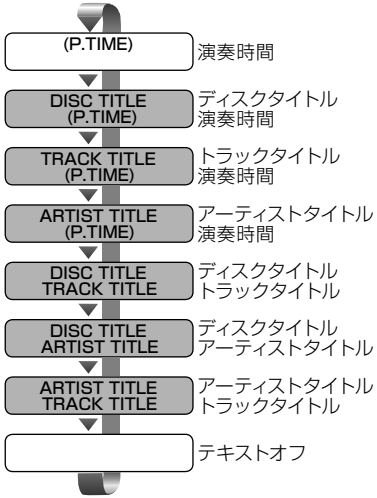


ラジオ時



交通情報受信時

音楽CD時



知識
- 色が塗られている項目は、CD TEXTディスクを再生しているときに選択できます。
- タイトル表示で、文字情報が記録されていないと“NO TITLE”と表示されます。

時計表示

MP3/WMA時

- (P.TIME) — 演奏時間
- FOLDER NAME (P.TIME) — フォルダ名 演奏時間
- FILE NAME (P.TIME) — ファイル名 演奏時間
- FOLDER NAME FILE NAME — フォルダ名 ファイル名
- ALBUM&ARTIST (P.TIME) — アルバムタグとアーティストタグ 演奏時間
- TITLE TAG (P.TIME) — タイトルタグ 演奏時間
- ALBUM&ARTIST TITLE TAG — アルバムタグとアーティストタグ タイトルタグ
- テキストオフ

知識

- タグ表示で、文字情報が記録されていないと “NO TAG”と表示されます。
- WMAファイルのアルバムタグには対応しておりません。WMAを再生中にアルバムタグを選択すると “NO TAG”と表示されます。

MD時

- (P.TIME) — 演奏時間
- DISC TITLE (P.TIME) — ディスクタイトル 演奏時間
- GROUP TITLE (P.TIME) — グループタイトル 演奏時間
- TRACK TITLE (P.TIME) — トラックタイトル 演奏時間
- DISC TITLE GROUP TITLE — ディスクタイトル グループタイトル
- DISC TITLE TRACK TITLE — ディスクタイトル トラックタイトル
- GROUP TITLE TRACK TITLE — グループタイトル トラックタイトル
- テキストオフ

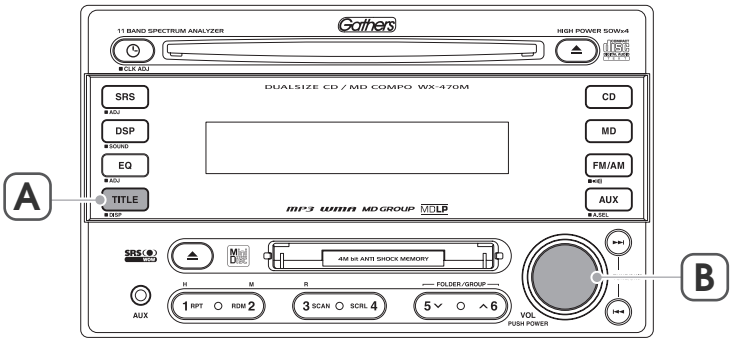
知識

- 色が塗られている項目は、「コンフィグ設定」（→44ページ）で “MD GROUP” 項目を “ON” に設定して、グループ登録済みMDを再生しているときに選択できます。
- タイトル表示で、文字情報が記録されていないと “NO TITLE”と表示されます。

AUX時

- AUX — ソース名
- テキストオフ

表示部の設定



表示部を設定する

文字情報やスペアナなど表示部を設定します。

1 表示切り替えモードにします

A → 1秒 TITLE → DISP MODE

“DISP MODE”と表示されるまで押し続けます。

2 設定する項目を選択します

A → TITLE

押すたびに、設定項目が次のように替わります。詳しい設定方法はそれぞれの操作ページをご覧ください。

- DISP MODE / DISP SELECT「グラフィック表示を切り替える」（→40ページ）
- DISP MODE / SCROLL「テキストスクロールの設定」（→43ページ）

3 表示切り替えモードを終了します

A → 1秒 TITLE

1秒以上押し続ける、または7秒間以上何も操作しないと、表示切り替えモードが終了します。

グラフィック表示を切り替える

動画や壁紙、スペクトラム アナライザーのグラフィック表示を切り替えます。

1 表示切り替えモードにします

A → 1秒 TITLE → DISP MODE

“DISP MODE”と表示されるまで押し続けます。

2 表示選択モードにします

A → TITLE → DISP SELECT / SCROLL

続けて“DISP SELECT”と表示されます。

3 グラフィックス表示を選択します

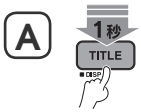
B

逆送り　順送り

回すたびに、グラフィック表示が次のように替わります。

- ALL SCAN — 全表示スキャン（動画、壁紙、スペクトラムアナライザー）
- MOVIE 1 — 動画 1
- MOVIE 2 — 動画 2
- MOVIE SCAN — 動画スキャン
- PICTURE 1 〜 PICTURE 5 — 壁紙 1 〜 壁紙 5
- PICTURE SCAN — 壁紙スキャン
- SPEANA 1 〜 SPEANA 5 — スペクトラムアナライザー 1 〜 スペクトラムアナライザー 5
- SPEANA SCAN — スペクトラム アナライザー スキャン
- OFF — グラフィックオフ

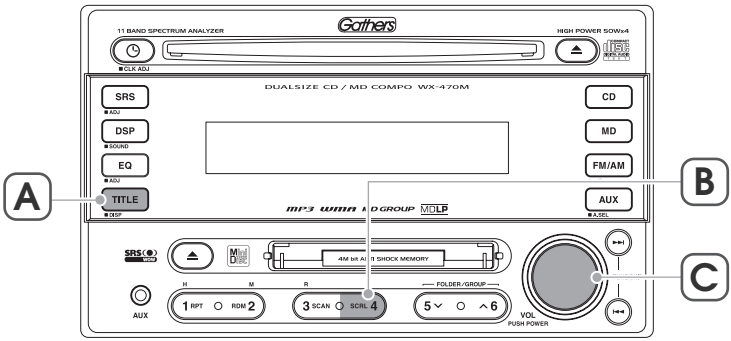
4 表示切り替えモードを終了します



1秒以上押し続ける、または7秒間以上何も操作しないと、表示切り替えモードが終了します。

知識 音楽CD、MP3/WMAおよびMDを再生時は、タイトルやタグ、ファイル名など文字情報を表示しているとグラフィックは表示されません。

表示部の設定



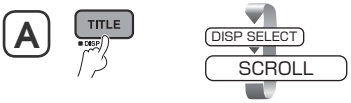
テキストスクロールの設定

文字情報を繰り返しスクロール表示するか設定します。

1 表示切り替えモードにします

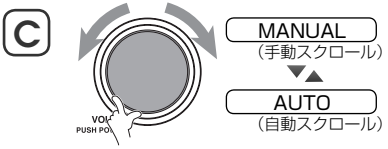
“DISP MODE”と表示されるまで押し続けます。

2 スクロール設定モードにします



1回押して“SCROLL”を表示します。

3 スクロールを設定します



4 表示切り替えモードを終了します

1秒以上押し続ける、または7秒間以上何も操作しないと、表示切り替えモードが終了します。

知識 初期設定は“MANUAL”です。

テキストスクロール

CDやMDを聴いているとき、曲名など文字情報をスクロールして表示させます。

1 表示内容を選択します

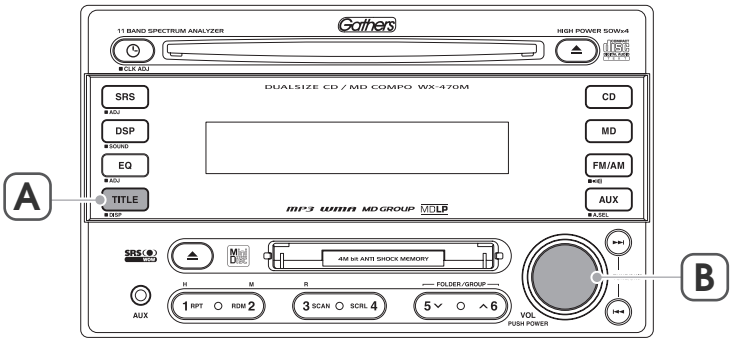
「文字表示を切り替える」（→38ページ）を参照してタイトルやタグを選択します。

2 スクロール表示します

知識

- 表示項目が周波数、演奏時間およびテキストオフではスクロールできません。ディスクタイトル、ファイル名やタイトルタグなど文字情報を選択してください。
- タイトルまたはタグに文字情報がないと“NO TITLE”または“NO TAG”と表示されます。文字情報がないときは、スクロールできません。
- スクロール中は表示文字によっては見にくくなる場合があります。
- 前記の「テキストスクロールの設定」で、スクロールを繰り返すようにも設定できます。

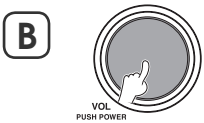
構成設定



コンフィグ設定

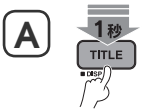
操作時の確認音など、各種の機能を設定します。

1 電源を切ります



POWER OFF

2 コンフィグモードにします



CONFIG

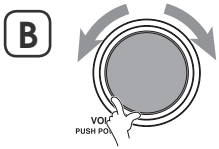
“CONFIG”と表示されるまで押し続けます。

3 設定項目を選択します

押すたびに、設定項目が次のように替わります。

BEEP	ビープ
オープニング表示	オープニング表示
デモ表示	デモンストレーション表示
CD READ	CDリード
CD 漢字優先表示	CD漢字優先表示
MD GROUP	MDグループ
MD 漢字優先表示	MD漢字優先表示
CABIN 選択	キャビン選択
スピーカー選択	スピーカー選択
ツイーター選択	ツイーター選択

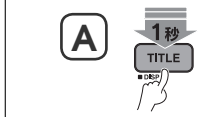
4 値を設定します



設定項目	設定値
BEEP (操作確認音の設定)	OFF / **ON**
オープニング表示 (電源オン時の表示設定)	OFF / **ON**
デモ表示 (電源オフ中の表示設定)	OFF / **ON**
CD READ (CDの読み込み設定)	**1** / 2
CD漢字優先表示 (CDテキストの漢字の優先表示設定)	OFF / **ON**
MD GROUP (MDグループ機能の使用設定)	**OFF** / ON
MD漢字優先表示 (MDタイトルの漢字の優先表示設定)	OFF / **ON**
CABIN選択 (車種を設定)	**COMPACT**/ SEDAN/ MINIVAN
スピーカー選択 (スピーカーの種類を設定)	**STANDARD**/ DUAL/ 2WAY
ツイーター選択 (ツイーターの有無を設定)	**OFF** / ON

(太字は初期設定値)

5 コンフィグモードを終了します



1秒以上押し続ける、または7秒間以上何も操作しないと、コンフィグモードが終了します。

知識

- 詳しい機能については「用語」(→50ページ)をご覧ください。
- 電源オフ中は "BEEP" 項目の設定にかかわらず操作確認音が鳴りません。
- "CABIN選択" の設定を替えると「音質を調整する」(→20ページ) の "FAD" 項目が設定ごとの初期値に替わります。
- 使用環境の設定が完了していないとイニシャル("INI")インジケーターが点滅し続けます。コンフィグ設定の"CABIN選択"、"スピーカー選択"および"ツイーター選択"項目を設定してください。

MP3/WMA/MDグループについて

MP3/WMAについて

本機ではMP3/WMAファイルを再生することができます。
使用できるMP3/WMAファイルやメディア、フォーマットには制限がありますので以下のことに注意してください。

再生できるオーディオファイル

本機で再生できるオーディオファイルは、MP3とWMAです。

MP3フォーマット

形式	MPEG 1, MPEG 2 Audio Layer 3規格
サンプリング周波数	8, 11.025, 12, 16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48 (kHz)
ビットレート	8～320 (kbps) / VBR*

WMAフォーマット

形式	Windows Media™ Audio 準拠
サンプリング周波数	32, 44.1, 48 (kHz)
ビットレート	48～192 (kbps) / VBR*
コピープロテクト	コピープロテクト(著作権保護)されたファイルは再生できません、設定をオフにしてください。

知識 Windows Media™ Player 9以上の一部の機能を使用すると正常に再生できない場合があります。詳しくは「用語」(→48ページ)をご覧ください。

アドバイス
- MP3/WMA以外のファイルに、".MP3"、または ".WMA" の拡張子を付けると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生をしてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。MP3/WMA以外のファイルに、".MP3"、または ".WMA" 拡張子を付けないようにしてください。
- MP3/WMAファイルと認識して再生されるファイルは、".MP3" または ".WMAの拡張子が付いたものだけです。MP3/WMAファイルには、".MP3" または ".WMA"拡張子を付けて保存してください。(拡張子は大文字と小文字どちらでも構いません)

知識
* VBR（可変ビットレート)形式では、転送ビットレートに制限があります。ファイル（ストリーム）中のMP3/WMAビットレートが上記の値に収まっているファイルのみ再生できます。ファイル（ストリーム）中に上記のMP3/WMAビットレートから外れる部分があると正常に再生できません。

音楽などの著作物を個人的に楽しむなどの場合を除き、著作権利者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

使用できるメディアとフォーマット

MP3/WMAファイルを収録するためのメディアとフォーマットは下記です。また、ファイルとフォルダの構成には以下の制限があります。

メディア	CD-R、CD-RW
フォーマット	● ISO 9660 Level 1 ● ISO 9660 Level 2 ● Joliet ● Romeo ● ロングファイルネーム
ファイルとフォルダの構成制限	● 最大ディレクトリ階層：8階層 ● 1フォルダ中の最大ファイル数：255 ● 最大フォルダ数：100

知識
- CD-RWの簡易フォーマットで作成されたメディアは再生できません。
- 何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、"Disc at Once" の設定をしてください。

ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数カナ文字または日本語で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。
なお、ファイル名/フォルダ名は64文字まで表示可能です。(区切り文字"."と拡張子3文字を含みます)

知識 ライティングソフトや使用するディスクのフォーマットによって表示できる文字が制限されます。詳しくはライティングソフトの説明書をご覧ください。

オーディオファイルの曲情報表示

MP3 ID3 Tag/ WMAコンテンツプロパティ：30文字
なお、表示できる文字は英数文字、カタカナ、日本語（シフトJIS)です。

知識
- 表示できるMP3 ID3 Tagは、v1.0/1.1規格です。
- MP3 ID3 Tag/WMAコンテンツプロパティを記録していないファイルは"NO TAG"と表示されます。

メディアに書き込むファイルについて

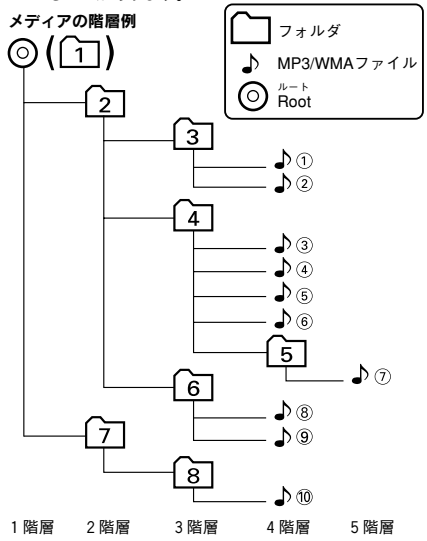
MP3/WMAが収録されているメディアを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。このため、メディアに多くのフォルダやMP3/WMA以外のファイルを書き込むと、再生するまで長時間必要になります。
また、次のMP3/WMAファイルの再生に移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

MP3/WMAファイルを再生する順番

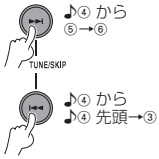
以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、およびファイルサーチを行った場合は次のようになります。

知識

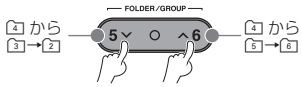
ファイルやフォルダが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、予想していた順番と実際に再生される順番が一致しないことがあります。
ライティングソフトにもよりますが、“01” ～ “99” などとファイル名の頭に再生する順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、再生する順番を設定できることがあります。



♪④ 再生中にファイルサーチを行うと…



♪④ 再生中にフォルダサーチを行うと…



MDグループについて

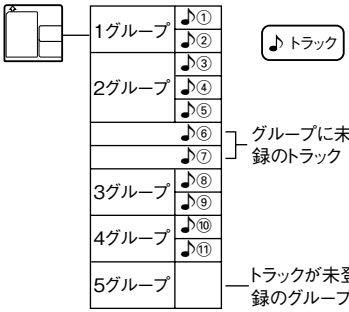
本機では、グループ化されたMD（グループ登録済みMD）からグループを選んで、聴きたい曲をすばやく選べるグループ管理機能を搭載しています。（MDの作成方法はグループ機能を搭載した編集機などの取扱説明書をご覧ください）

最大再生可能グループ数

本機で再生できるグループ数は50番目までです。51番目以降に登録されているグループは再生できません。

グループ登録された曲を再生する順番

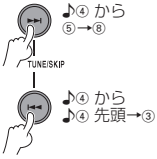
以下のようなグループで作成されたディスクでトラックサーチ、およびグループサーチを行った場合は次のようになります。なお、グループ管理機能は「コンフィグ設定」（→44ページ）の “MD GROUP” 項目を “ON” に設定しているときに使用できます。



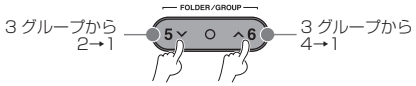
知識

- グループ管理機能を “ON” に設定していると、グループに登録していないトラックは再生されません。グループ管理機能を “OFF” に設定するとすべての曲を聴くことができます。
- トラックが登録されていないグループは、グループサーチでは選択できません。

♪④ 再生中にトラックサーチを行うと…



♪⑧ 再生中にグループサーチを行うと…



困ったときは

用語

共通

CD TEXT
(CD テキスト)
音楽用のCDに曲名やアーティスト名など文字情報を記録する規格です。

MDLP
(MD エルピィ)
MDの録音方式の規格です。
本機ではMDLP2モードとMDLP4モードで録音されたMDをプレイできます。

MP3
(エムピィスリー)
正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。
本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。
使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「MP3/WMAについて」(→46ページ)をご覧ください。

MP3 ID3 Tag
(エムピィスリー アイディスリー タグ)
MP3ファイルの情報データです。曲のタイトルやアーティスト名、収録アルバム名などが記録されています。

WMA
(Windows Media™ Audio)
米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。
本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。
使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「MP3/WMAについて」(→46ページ)をご覧ください。
本機では、コピープロテクト(著作権保護)されたファイルの再生はできません。「コピープロテクト」を見て、コピープロテクトを無効にして作成してください。
また、Windows Media™ Player 9以上のProfessional(マルチチャンネル)、Lossless(可逆圧縮)、Voice形式を使用すると再生できません。

WMAコンテンツプロパティ
WMAファイルの情報データです。曲のタイトルやアーティスト名などが記録されています。

コピープロテクト(著作権保護)
Windows Media™では、音楽ファイルなどのコンテンツを保護するためにデジタル著作権管理(DRM)機能があります。
本機はDRM(著作権保護)が付いたWMAファイルの再生ができません。WMAを作成するときはDRM(著作権保護)をオフにしてください。

Windows Media™ Player 8での設定方法
「ツール」→「オプション」、「音楽のコピー」タブ内の「コンテンツを保護する」のチェックを外してください。

Windows Media™ Player 9 / 10での設定方法
「ツール」→「オプション」、「音楽の取り込み」タブ内の「取り込んだ音楽を保護する」のチェックを外してください。

交通情報
高速道路などでは決められた周波数で交通情報を放送しています。MDやCDを聴いていても、すばやく交通情報を聴くための機能です。

音質の調整

DSP (Digital Signal Processor)
(ディエスピィ：デジタル シグナル プロセッサー)

音楽信号をデジタル処理することです。これにより、反射音や残響音などの音響効果を作り、擬似的にコンサートホールなどの音場空間を作り出します。
DSPの効果は、「DSP効果を呼び出す」(➡21ページ)で設定することができます。

SONIC ENHANCER
(ソニックエンハンサー)

通常の音楽ソースに対して圧縮オーディオ（MDやMDLP、MP3、WMA）では空間情報などが失われます。この機能で失われた空間情報を補正します。
ソニックエンハンサーの効果は、「音質を調整する」(➡20ページ)の"SONIC ENHANCER"項目で設定することができます。(圧縮オーディオ以外の音楽ソース中でも設定することができます。)

MODE1：ボーカルが自然に浮き出た感じが得られます。
MODE2：素直なステージ感ある低音とスッキリとした高音が得られます。
MODE3：低音を聴きやすく、全体に広がり感が得られます。

SRS WOW

本機では、米国SRS社のWOW回路により、サウンドに大迫力の重低音を付加したり、立体的な音場にして再生することができます。
SRS WOWの効果は、「WOWを呼び出す」(➡24ページ)、「WOWを調整する」(➡24ページ)で設定することができます。

SRS 3D：奥行き感のある立体的な音場にすることができます。車室内のどこででも立体的で最適な音を聴くことができます。
FOCUS：フロントスピーカーの音像の位置を縦方向（上方向）に移動するとともに音の輪郭を調節します。
TruBass：原音に含まれている信号からバランスのとれた重低音を再現することができます。
SRS WOW："FOCUS"、"TruBass"および"SRS 3D"の値を一括で設定することができます。

SRS WOW	SRS 3D	FOCUS	TruBass
OFF	OFF	OFF	OFF
LOW	ON	LOW	ON
HIGH	ON	HIGH	ON
USER	「WOWを調整する」(➡24ページ)で設定した値を呼び出します。		

イコライザーカーブ

ジャンル別に設定された音質には以下のような特徴があります。また、周波数ごとにレベルを変えて好みの音質に調整することもできます。
イコライザーカーブは、「イコライザーカーブを呼び出す」(➡22ページ)、「イコライザーカーブを調整する」(➡22ページ)で調整することができます。

NATURAL：車室内の特性を補正した自然な音を再現します。
ROCK：一体感のある重厚な音を再現します。
POPS：温かみのある素直な音を再現します。
DANCE：リズミカルで華やかな音を再現します。
VOCAL：ボーカルの声が優しく、温かみが感じられる音を再現します。

表示部の設定

SCROLL
(スクロール)

表示部にディスクタイトル、アーティストタイトル、トラックタイトル、グループタイトル、フォルダ名、ファイル名、タイトルタグ、アーティストタグ、またはアルバムタグを選択しているとき、スクロールして表示する機能です。

AUTO：スクロール表示を繰り返し行います。
MANUAL：表示が変わったときだけ1回スクロール表示します。

用語

コンフィグ設定

BEEP
(ビープ)
ボタンを操作したとき、押されたことを確認できるように確認音が鳴る機能です。
電源オフ中は設定にかかわらず確認音が鳴りません。
ON：“ピッ”または“ピー”と音が鳴ります。
OFF：うるさく感じたときに設定します。ボタンを1秒以上押したときやモードが変わるときのみ、“ピッ”または“ピー”と音が鳴ります。

オープニング表示
電源をオンにしたときの、オープニング表示の有無を設定できます。

デモ表示
(デモンストレーション表示)
電源をオフにしたときの、デモンストレーション表示の有無を設定できます。

CD READ
(CD リード)
CDの認識方法を設定します。通常は“CD READ 1”でお使いください。

ディスク	“CD READ 1”	“CD READ 2”
音楽CD	音楽CDを再生	音楽CDを再生
MP3/WMA	MP3/WMAを再生	音楽CDとして再生（無音）
音楽CD/MP3/WMA混在	作成されたディスクによりMP3/WMAまたは音楽CDのどちらかを再生	音楽CDを再生

CD標準規格に合致しない特殊仕様のCD（各種コピーコントロールCD）で正常に再生できない場合、“CD READ 2”に設定すると強制的にCDと認識して再生できることがあります。

CD漢字優先表示
MD漢字優先表示
CDテキストやMDタイトルなどが漢字およびカタカナまたは英数大文字/小文字で記録されているディスクを聴いているときに、これらを漢字で表示するか、カタカナまたは英数大文字/小文字で表示するかの設定ができます。
ON：漢字で表示（漢字が登録されていない場合は、カタカナまたは英/数文字で表示）
OFF：カタカナまたは英/数文字で表示

MD GROUP
(MD グループ)
この機能をオンにしておくと、グループ登録済みMDを再生中に、グループサーチ、グループリピートプレイ、およびグループランダムプレイのMDグループ機能を使うことができます。
このとき、グループに未登録の曲は再生されませんので、何らかのグループに登録するか、この機能をオフにしてください。
MDグループ機能については「MDグループについて」(→47ページ)もご覧ください。

CABIN選択 (キャビン選択)
スピーカー選択
ツイーター選択
キャビン（車種）とスピーカーの種類、ツイーターの有無を選択することで簡単に使用環境を設定します。
音質を使用環境に合わせて自動的に補正します。

CABIN選択
COMPACT：ライフなど、前後スピーカーの距離が近い車種に設定します。
SEDAN：シビックなど、セダンタイプに設定します。
MINIVAN：ステップワゴンなど、前後スピーカーの距離が離れている車種に設定します。

スピーカー選択
STANDARD：標準的なスピーカーに設定します。
DUAL：振動板が二つあるデュアルコーンスピーカーに設定します。
2WAY：低音用と高音用に分かれた同軸2ウェイスピーカーに設定します。

ツイーター選択
OFF：ツイーターがないときに設定します。
ON：別途ツイーターを取り付けたときに設定します。

故障かな？と思ったら

	こんなとき	どうして	こうします
共通	電源がオンにならない	ヒューズが切れている。	販売店にヒューズの交換を依頼してください。
		エンジンスイッチをオンにしていない。	エンジンスイッチをオンにしてください。
	音が出ない／音が小さい／“MUTE”表示になる	音量が最小になっている。	音量を適度に上げてください。
		“FAD”、“BAL”が片側に片寄った設定になっている。	“FAD”（フェダー）、“BAL”（バランス）を調整してください。（➡20ページ）
		「コンフィグ設定」の“CABIN選択”項目の設定を行い、“FAD”が前側に片寄っている。	「コンフィグ設定」（➡44ページ）の“CABIN選択”項目を変更すると“FAD”（フェダー）の値が替わります。“FAD”を調整してください。（➡20ページ）
		リモートコントロールスイッチや接続した機器などのミュート機能が働いている。	ミュート機能を操作してください。または、接続した機器の接続や設定を確認してください。ミュート機能を解除できない場合は販売店へご相談ください。
	音質が悪い（音が歪む）	音量が大きすぎる。	適正音量で使用してください。
	サウンド調整の“BAS”、“MID”、“TRE”項目が表示されない	イコライザーカーブを設定している。	「イコライザーカーブを呼び出す」（➡22ページ）を見て、“OFF”に設定してください。
ラジオ	チューナーの感度が悪い、または雑音が入る*	自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナを十分伸ばしてください。
		電波が弱い。	電波状態の良い周波数を受信してください。
		受信周波数が合っていない。	放送局の周波数を確認して、周波数を合わせてください。
	オートセレクトで放送局を登録できない／“----”表示になる	自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナを十分伸ばしてください。
		電波が弱い。	電波状態が回復してから再度、オートセレクトしてください。
AUX	AUXモードに切り替わらない	AUX端子にケーブルを接続していない。	AUX端子にケーブルを接続してからAUXソースに切り替えてください。
		接続ケーブルの差し込みが不十分。	接続ケーブルのプラグを確実に差し込んでください。
		ステレオミニプラグ以外を使用して接続している。	ステレオミニプラグ（3極）を使用して接続してください。
	AUXの音声が小さい	抵抗入りのケーブルを使用して接続している。	抵抗が入っていないケーブルを使用してください。
		AUX用の音量を小さくしている。	AUXソースは、音量の調節が独立しています。AUX用に音量を調節してください。
		AUX端子に接続した機器の音量が小さくなっている。	接続した機器の音量を適度に上げてください。
	AUXの音声が片側からしか出ない	モノラルミニプラグを使用して接続している。	ステレオミニプラグを使用して接続してください。

知識

* FM放送はAM放送と比べるとビルや山などの影響を受けやすく、障害物の裏側などに入ると雑音が出ることがあります。また、FM放送は受信できる範囲が狭く、長距離ドライブなどでは走行中に電波が届かなくなり、雑音が出ることがあります。

故障かな？と思ったら

	こんなとき	どうして	こうします
音楽CD	CDモードに切り替わらない	CDが挿入されていない。	CDを挿入してください。
	CDが入らない	すでにCDが入っている。	入っているCDを取り出してから入れてください。
		CDが反っている。	反ったCDは使用しないでください。
	CDが再生できない	CDに傷や汚れがある。	「CDのお手入れ」（→9ページ）を見て、クリーニングしてください。
	CD-R、CD-RWが再生できない	ファイナライズ処理を行っていない。	CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。
	CDが出てこない	▲ボタンを押す時間が短い。	▲ボタンを1秒くらい押してください。
	CDのプレイ時の音質が悪い（プレイ時にノイズが入る）	CD自身の音質。	他のCDを再生して問題がなければ、そのCDの問題です。
		CDに傷や汚れなどが付いている。	「CDのお手入れ」（→9ページ）を見て、クリーニングしてください。
		CDが反っている。	反ったCDは使用しないでください。
	選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない	ランダムプレイになっている。	「曲をランダムに聴く」（→33ページ）を見て、ランダムプレイを解除してください。
	振動により音が飛ぶ	CDに傷や汚れなどが付いている。	「CDのお手入れ」（→9ページ）を見て、クリーニングしてください。
		CDが反っている。	反ったCDは使用しないでください。
	CDの再生が1曲目に戻る	「コンフィグ設定」の“CD漢字優先表示”項目の設定を行った。	「コンフィグ設定」（→44ページ）の“CD漢字優先表示”の設定を行うとCDの再生が1曲目に戻ります。
		「コンフィグ設定」の“CD READ”項目の設定を行った。	「コンフィグ設定」（→44ページ）の“CD READ”の設定を行うとCDの再生が1曲目に戻ります。
	文字表示で“DISC TITLE”、“ARTIST TITLE”、“TRACK TITLE”項目が表示されない	情報が記録されていない音楽CDを再生している。	CD TEXTが記録された音楽CDのときに選択できます。

	こんなとき	どうして	こうします
MP3／WMA	MP3/WMAファイルが再生できない	MP3/WMAファイルに拡張子が付いてない。	MP3ファイルには".MP3"を、WMAファイルには".WMA"を付けてください。
		CDに傷や汚れがある。	「CDのお手入れ」(→9ページ)を見て、クリーニングしてください。
		サポートしていないファイルを再生しようとした。	「再生できるオーディオファイル」(→46ページ)を見て、再生できるファイルを作成してください。
		「コンフィグ設定」の"CD READ"項目を"2"に設定している。	「コンフィグ設定」(→44ページ)を見て、"CD READ"項目を"1"に設定してください。
	MP3/WMAファイルを再生中に音飛びする	CDに傷や汚れがある。	「CDのお手入れ」(→9ページ)を見て、クリーニングしてください。
		CDが反っている。	反ったCDは使用しないでください。
	MP3/WMAファイルを再生時に雑音が入る/音が出なくなる	MP3/WMAファイル以外のファイルに".MP3"または".WMA"拡張子が付いている。	MP3/WMAファイル以外のファイルに付いている".MP3"または".WMA"拡張子を消去してください。
		サポートしていないファイルを再生しようとした。	「再生できるオーディオファイル」(→46ページ)を見て、再生できるファイルを作成してください。
	フォルダ名/ファイル名が正しく表示されない	ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠して記録されていない。	ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠したディスクを使用してください。(→46ページ)
		ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。	ライティングソフトの取扱説明書を参照して使用できる文字で記録してください。
	演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない	MP3/WMAファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。	—
	MP3/WMAファイルを再生するまで時間がかかる	ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。	最初にメディア内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。
	MP3/WMAファイルが順番どおりに再生されない	プレイさせたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかったため。	ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に"00"～"99"などと入力してから書き込むことで順番を設定できる場合もあります。
	CD-RWに記録したMP3/WMAファイルが再生されない	CD-RWのフォーマットを簡易フォーマットで行ったため。	CD-RWをフォーマットするときは、フルフォーマットで行ってください。
	"COPY PROTECT"と表示してWMAファイルが再生されない	コピープロテクトされているWMAファイルを再生している。	Windows Media™ Audioの著作権保護されたファイルは再生できません。

困ったときは

故障かな？と思ったら

	こんなとき	どうして	こうします
MD	MDモードに切り替わらない	MDが挿入されていない。	MDを挿入してください。
	MDが入らない	すでにMDが入っている。	入っているMDを取り出してから入れてください。
		向きを間違えて入れようとした。	MDのシャッターを右側にしラベル面を上側にして、矢印の方向に入れます。
	MDのプレイ時の音質が悪い（プレイ時にノイズが入る）	MD自身の音質。	他のMDを再生して問題がなければ、そのMDの問題です。
	MDを入れてもピー音がして再生できない	Hi-MD形式でフォーマットしたMDを再生している。	Hi-MDには対応していません。従来のMDディスクでもHi-MD形式でフォーマットすると再生できなくなります。従来のMD方式で録音してください。
	MDが出てこない	▲ボタンを押す時間が短い。	▲ボタンを1秒くらい押してください。
	選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない	ランダムプレイになっている。	「曲をランダムに聴く」（→36ページ）または「全グループ内の曲をランダムに聴く」（→37ページ）を見て、ランダムプレイを解除してください。
		グループに登録されていない。	聴きたい曲を何らかのグループに登録するか、「コンフィグ設定」（→44ページ）の“MD GROUP”項目を“OFF”に設定してください。
	MDの再生が1曲目に戻る	「コンフィグ設定」の“MD漢字優先表示”項目の設定を行った。	「コンフィグ設定」（→44ページ）の“MD漢字優先表示”の設定を行うとMDの再生が1曲目に戻ります。
		「コンフィグ設定」の“MD GROUP”項目の設定を行った。	「コンフィグ設定」（→44ページ）の“MD GROUP”の設定を行うとMDの再生が1曲目に戻ります。
	タイトルが正しく表示されない	「コンフィグ設定」の“MD漢字優先表示”項目を“OFF”に設定している。	タイトルを漢字ひらがなで表示するには、「コンフィグ設定」（→44ページ）の“MD漢字優先表示”項目を“ON”に設定してください。
	MDグループ機能が働かない	「コンフィグ設定」の“MD GROUP”項目を“OFF”に設定している。	「コンフィグ設定」（→44ページ）の“MD GROUP”項目を“ON”に設定してください。
	グループ登録済みMDが登録した順番どおりにプレイされない	グループ機能を搭載していない編集機などで編集を行った。	グループ機能を搭載した編集機などで、グループを登録しなおしてください。
		グループタイトルに“//”が付いている。	グループ情報が正しく認識できないため、グループタイトルに“//”は付けないでください。
	ディスクタイトルが表示できない	ディスクタイトルとグループタイトルとが異なる種類の文字で登録されている。	ディスクタイトルとグループタイトルとが異なる種類の文字で登録されているMDでは、ディスクタイトルが表示できないことがあります。グループ機能を搭載した編集機などでディスクタイトルを登録し直してください。

困ったときは

メッセージについて

本機の状態や異常の発生などをディスプレイにメッセージで表示します。

状態を以下の内容でお知らせします。

表示	ソースモード	内容
UNSUPPORTED	CD/MD	MP3/WMAが記録されていないCDまたは、再生できないフォーマットのCDなどを挿入した。 ➡「MP3/WMAについて」（➡46ページ）を見て、CDを作り直してください。 ➡「曲を選ぶ」（➡31ページ）を見て、次の曲に替えてください。次のファイルが再生できる場合があります。 データMDなど再生できないMDを挿入した。 ➡音楽用のMDを挿入してください。
COPY PROTECT	CD	コピープロテクトされているWMAファイルを再生しようとした。 Windows Media™ Audioの著作権保護ファイルです。
BLANK DISC	MD	演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。 ➡ほかのディスクを使用してください。
NO TAG	CD	曲名などMP3 ID3タグ/WMAコンテンツプロパティが記録されていないMP3/WMAファイルを再生している。
NO TITLE	CD/MD	曲名などタイトルがCDまたはMDに記録されていないディスクを再生している。
MUTE	共通	リモートコントロールスイッチや接続した機器などのミュート機能が働いている。 ➡ミュート機能を操作してください。または、接続した機器の接続や設定を確認してください。ミュート機能を解除できない場合は販売店へご相談ください。
“INI”インジケーターの点滅	共通	使用環境の設定が完了していない。 ➡「コンフィグ設定」（➡44ページ）を参照して“CABIN選択”、“スピーカー選択”および“ツイーター選択”項目を設定してください。
“DEMO”インジケーターの点滅	電源オフ	デモンストレーション表示がオンになっている。 ➡「コンフィグ設定」（➡44ページ）の“デモ表示”項目を“OFF”に設定してください。

異常の発生を以下の内容でお知らせします。

表示	内容
DISC ERROR	ディスクが異常に汚れている。ディスクが裏返しになっている。 ディスクにキズが多く付いている。 ➡ディスクを確認してください。
MECH ERROR	何らかの原因で正常に動作しない。 ➡CDまたはMDの▲（イジェクト）ボタンを押してください。メカエラーが解除されます。 ➡通常の操作で繰り返し発生する場合は、販売店へご相談ください。
“AMP”インジケーターの点滅	本機の内部が一定温度以上になると保護回路が働き、音量を18まで小さくします。このときにこの表示が出ます。 ➡本機の内部温度が下がると“AMP”インジケーターが消灯します。
HEAT ERROR または AMP ERROR	本機の内部が一定温度以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときにこの表示が出ます。 ➡本機の内部温度が下がるまでボリュームが最小になります。内部温度が下がると元の音量に戻ります。
DC ERROR	スピーカー出力に直流電流が流れて保護回路が働いた。 ➡エンジンキーを一度オフにしてください。DCエラーが解除されます。 ➡繰り返し発生する場合は、販売店へご相談ください。

アフターサービスについて

●調子が悪いとき

まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

●それでも調子が悪いとき

保証書記載に従い修理させていただきますのでお買い上げの販売店に修理を依頼してください。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

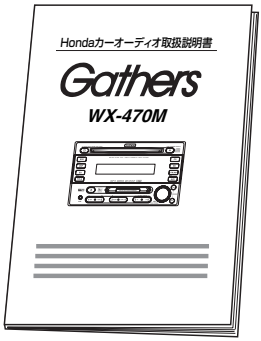
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

●補修用性能部品

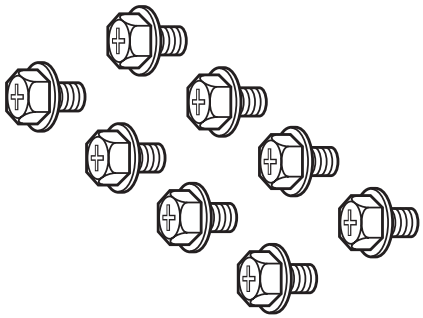
製造打切り後、最低 6 年間保有しています。

付属品一覧

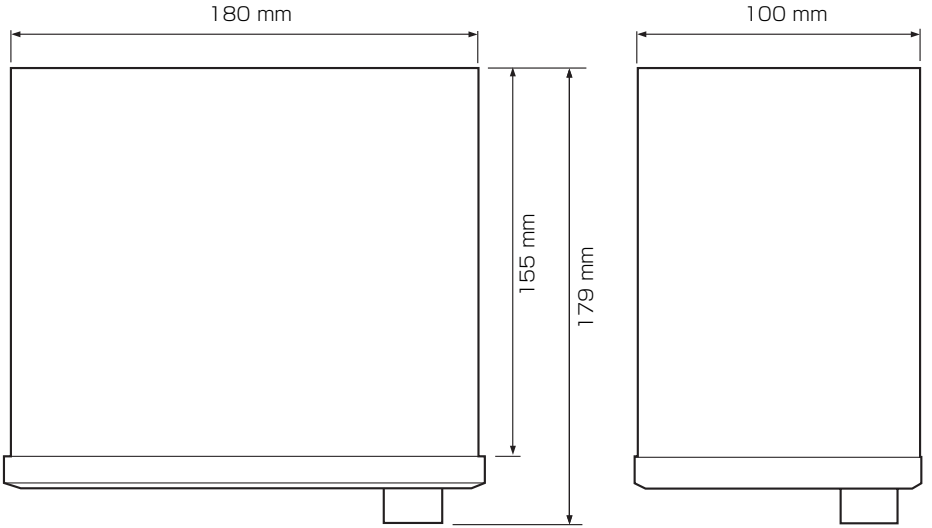
取扱説明書 ..... 1 冊

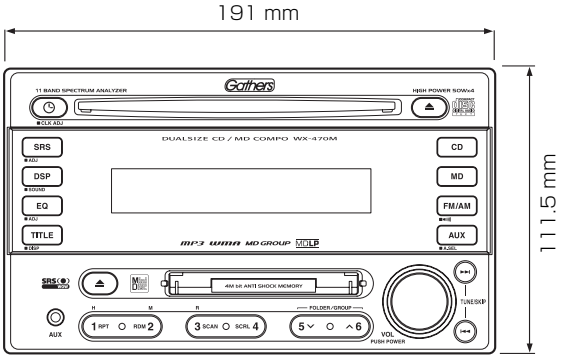


取付ネジ（M5 × 8mm）..... 8個

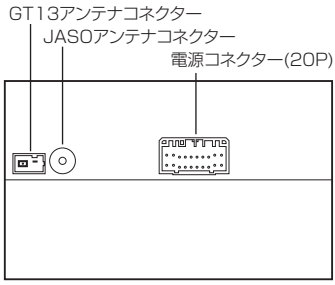


外形寸法図／コネクター配線図

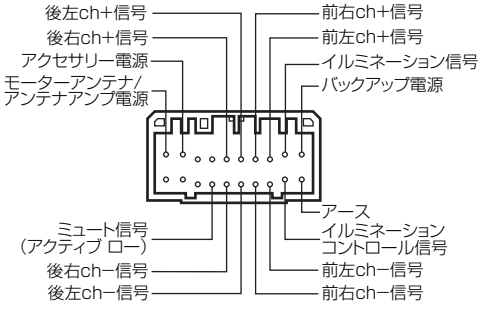




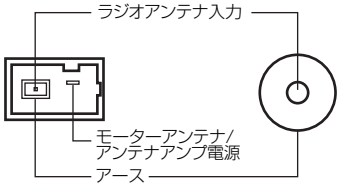
●本体背面



●電源コネクター(20P)



●GT13アンテナコネクター/ JASOアンテナコネクター



仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	76.0 MHz～90.0 MHz（100 kHz）
実用感度	2 dBμ
周波数特性	20 Hz～15 kHz（±4 dB）
S/N比	65 dB以上
高調波歪率	1 %以下（1 kHz）

AMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	522 kHz～1629 kHz（9 kHz）
実用感度	28 dBμ
S/N比	60 dB以上
高調波歪率	1 %以下（400 Hz）

MDプレーヤー部

ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz～20 kHz（±1 dB）
S/N比	90 dB以上（1 kHz）
ダイナミックレンジ	85 dB以上
高調波歪率	0.08 %以下（1 kHz）
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 bit

CDプレーヤー部

ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz～20 kHz（±1 dB）
S/N比	95 dB以上（1 kHz）
ダイナミックレンジ	90 dB以上
高調波歪率	0.01 %以下（1 kHz）
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 bit
MP3デコーダ	MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコーダ	Windows Media™ Audio 準拠

AUX入力

周波数特性	20 Hz～20 kHz（±1 dB）
最大入力電圧	750 mV
入力インピーダンス	100 kΩ

オーディオ部

最大出力	50 W × 4
定格出力	22 W × 4（4Ω, 1kHz, 10%THD）

電源部

電源電圧	13.2 V（10.8～16.0 V）
最大消費電流	10 A

寸法・質量

埋込寸法（W × H × D）	180 × 100 × 155 mm
質量（重さ）	2080 g

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

WOW、SRS (●) 記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
WOW技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または
株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル　0120-663521

（受付時間　9時～12時、13時～17時／但し、土日・祝祭日は除く）

販売元　株式会社ホンダアクセス　〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号

製造元　株式会社ケンウッド　〒192-8525 東京都八王子市石川町2967番地3

PART NO. 08A00-4J0-3000-80

PART NO. B64-3417-00/01